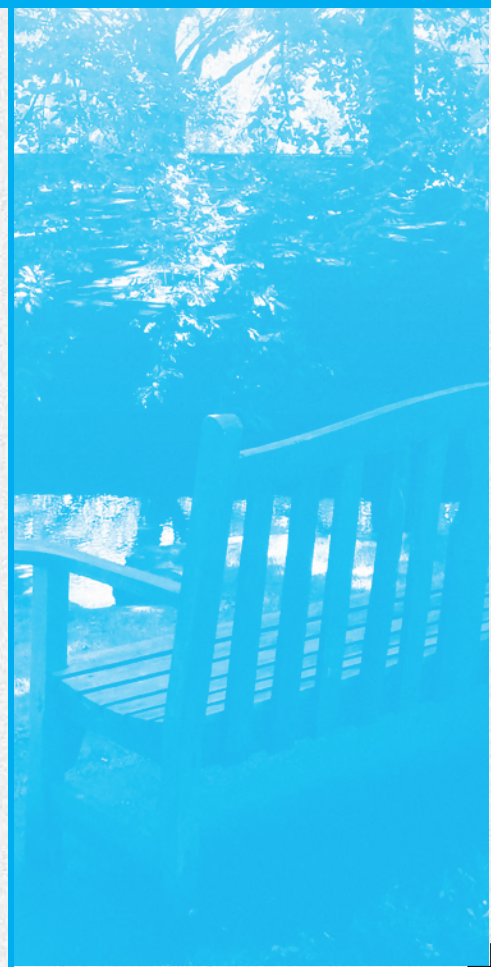


ISSN1881-7017

KYUSHU UNIVERSITY LIBRARY

Annual Report 2014/2015

九州大学附属図書館年報 2014/2015



CONTENTS もくじ

Topics	3
展示会・講演会	7
国際化	10
講習会	11
新規コレクション・電子化コンテンツ	12
研究開発室	13
職員研修	14
統計	15
附属図書館の組織	21
人事異動	23
出版物／貴重資料の学外展示・掲載・放映 ..	24
図書館日誌	25



附属図書館長
宮本 一夫

はじめに

26年度は新中央図書館の一部である「国際化拠点図書館」が着工し、27年度末には完成の予定です。それと併行して26年度には「新中央図書館基本計画」が完成したことが本館の成果として特筆されます。九州大学の学習・教育・研究・国際化・社会貢献の拠点として350万冊の収容能力を持つ新中央図書館は、この基本計画に沿って着実に整備が為されていくことが求められています。この基本計画に基づいた新中央図書館建設と整備、さらには現図書館・図書室からの図書移動を経て、30年度後期開館が我々の目標となりました。また、理学系移転に伴い、27年度には伊都図書館の改修も行われます。

26年度は、『九州大学百年史』部局史編のうち、附属図書館編が完成しました。これは中央図書館のみならず、医学図書館・芸工図書館など分館や記録資料館などの付設機関の歴史も記述したものであります。

図書館も大学教育を担う必要性が求められていますが、26年度はこの点においても様々な試みが為されています。一つは基幹教育との連携の中、「課題協学科目」等の課題文献コーナーを拡大充実させています。また、基幹教育の学生のためのレポート・プレゼンテーション講座を実施し、盛況でした。さらに、教育の質向上支援プログラム（EEP）「大学図書館による自律的学修支援体制の構築」では、統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻および付設教材開発センターとともに、図書館学習サポーターによる学習支援の拡充など様々な取り組みを実施しました。

26年度も図書館主催の展示会など数多くの企画を試みました。一つはLibrary Lovers' キャンペーン2014です。九州地区大学図書館協議会加盟館のうち九州大学を含め37大学が参加し、学生・教職員から本を読んで衝撃を受けた一言を募集し、展示するもので、多くの参加者を得て反響がありました。この他、学術講演会「これからの図書館と図書館員の目指す方向性」を開催しました。また、文学部技官であった林崎价男さんの1968年米軍機墜落事故の写真展を開催し、併せてトークイベントを行い、学生運動の盛んな時期の箱崎キャンパスを思い起こしました。そして、図書館職員への学習・教育支援に関する専門性向上研修も実施し、積極的に図書館職員の育成に努めています。

附属図書館には付設機関として、記録資料館と教材開発センターがあります。記録資料館では2014年大河ドラマ特別展「軍師官兵衛」展に『石垣原絵図』を出品し、好評を得ました。また、人文科学研究院岩崎義則准教授の日本史実習で、記録資料館九州文化史資料部門が所蔵する崎津村文書を活用した授業が行われました。

教材開発センターでは、JMOOCにおける“Global Social Archaeology”の制作を行いました。比較社会文化研究院溝口孝司教授とFlinders UniversityのClaire Smith教授による英語によるオンライン講座であり、世界53カ国799名の受講者によって222名という高い修了率を得、高い評価を得ました。この他、基幹教育院などの関連部局とともに英語教材など各種の教材開発の支援を行っています。

Topics

新中央図書館の建築工事と伊都図書館改修工事

●新中央図書館基本計画の策定と整備スケジュール

22年度から関係部局の委員により組織される新中央図書館基本計画検討ワーキンググループを中心に検討をすすめてきた「新中央図書館基本計画」が27年3月に完成しました。新中央図書館は、「いざなう(encourage)」「つなぐ(link)」「うみだす(create)」「はぐくむ(cultivate)」の4つをキーワードとする、九州大学における学修・教育・研究・国際化・社会貢献の拠点であり、面積約2万㎡、座席数約1,400席、収蔵能力約350万冊という、全国でも有数の大学図書館となります。

建物設計についても、設計事務所、施設部と協力して検討をすすめて、半円形4層の建物に大学のキャンパスモールを取り込み、ダイナミックな吹き抜け空間とその空間を取り囲むように壁面書架が配された特徴的なデザインの図書館となりました。26年秋からはよいよ第1期工事も開始され、28年度後期には全体の完成にさきがけてアクティブラーニングスペースや自動書庫の運用を開始する予定です。なお、1期工事と連続して2期工事もすすめて、全面的な開館は九州大学の伊都キャンパス移転事業が完了する30年後期となる予定です。

新中央図書館基本計画URL:https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/about-us/new_library/plans



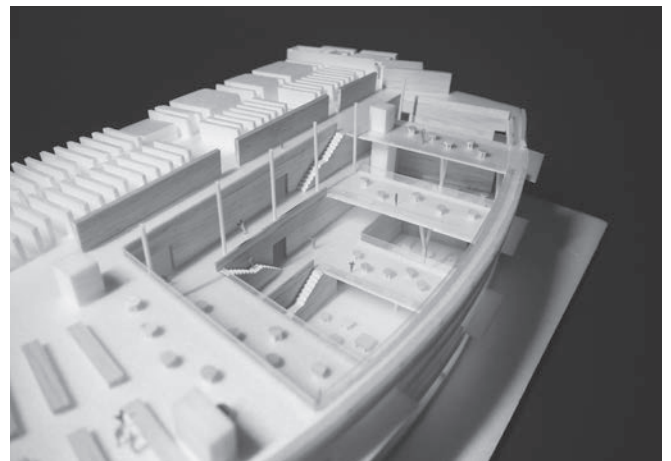
新中央図書館外観イメージパース(学園通り側からの景観)

●伊都キャンパスへのキャンパス移転スケジュールの変更

26年10月に九州大学の伊都キャンパスへの新たな移転スケジュールが決定され、当初31年度に予定されていた農学系の移転が1年前倒しとなり、文系の移転と同じ30年度となりました。27年度は箱崎キャンパスより理学系の移転が行われますが、今後30年度までに300万冊近くの資料移転をひかえる附属図書館では、27年度以降も自動書庫などを活用して継続的に資料の移転を続けていく予定です。

●理学系移転に伴う伊都図書館のリニューアル

伊都図書館では、27年度後半に行われる建物の改修にむけ、フロアプランの検討と設計、サービス計画や配架計画の策定を行いました。この改修は、現在伊都図書館3階を使用中の数理学研究院が27年夏に移転することに伴うものであり、3階の改修にあわせ、1階に学修スペース、2階に国際交流スペースを新設する予定です。17年のオープンから10年をむかえる伊都図書館は、新たな機能を加え28年4月にリニューアルオープンの予定です。



新中央図書館吹き抜け空間イメージ

『九州大学百年史』附属図書館編の編纂

九州大学では23年の創立百周年を記念し、九州大学の100年にわたる歴史、伝統を記録に留めるために、『九州大学百年史』(通史編3巻、部局史編4巻、資料編4巻と写真集計11巻)が編纂されています。完成した編は、印刷物の刊行に先立ち、附属図書館Webサイトの「九大コレクション」より順次公開しています。附属図書館編についても、執筆委員を中心に執筆・編集が進められ、27年3月に完成しました。

附属図書館は大正11年5月に設置されますが、第1章から第3章において、明治末の創設前史から平成24年3月31日までの、凡そ100年に及ぶ通史を記述し、第4章において、医学図書館、記録資料館等の分館・付設施設の歴史を記述しています。

執筆にあたり、1950年から1956年まで最後の司書官として附属図書館に在籍された岩猿敏生氏(元関西大学教授、日本図書館協会顧問)

のお宅に伺い、当時の附属図書館の課題や職員のこと、大学図書館史のありかたなど、貴重なお話を伺うことができました。



岩猿敏生氏

基幹教育との連携

九州大学で、26年度から新たに始まった「基幹教育」に対応する様々な支援を企画・実施しました。

●課題文献コーナー

基幹教育の「課題協学科目」向けとして開始した課題文献コーナーの対象科目を26年度後期から拡大し、図書館で利用できる授業関連文献をより充実させました。

●レポート&プレゼン講座

基幹教育の授業の進行にあわせてレポートの書き方、プレゼンテーションの講座を実施し、300名以上の1年生が参加しました。

●ゲーム教材の開発

これまで対面で実施してきた「図書館活用セミナー」に代わる教材として、スマートフォン向けゲーム教材「図書館お宝探しツアー」を開発し、モニタリング調査等による評価を行いました。

●「アクティブ・ラーナーへの第一歩」の共同執筆

基幹教育院と連携して、学生の口頭発表および文章表現に関する自学自習を促す教材「アクティブ・ラーナーへの第一歩」を執筆しました。この教材は、27年度入学者に電子書籍の形態で配布されます。



課題文献コーナー



ゲーム教材「図書館お宝探しツアー」アイテム一覧画面

教育の質向上支援プログラム(EEP)「大学図書館による自律的学修支援体制の構築」

九州大学教育の質向上支援プログラム(Enhanced Education Program: EEP)に25年度から採択された2年間のプロジェクト「大学図書館による自律的学修支援体制の構築」では、学術情報基盤の価値を最大限に活用したアクティブラーナーの育成を目指し、付設教材開発

センターおよび統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻とともに、図書館学習サポーターによる学修支援の拡充など様々な取組を実施しました。

取組事項

1. 学生との協働による学習支援プログラムの充実と開発
2. 自律的学修支援を推進する人材開発
3. 基幹教育との連携
4. 効果的な学修支援を推進するための各種調査
5. 電子教材の拡充と利用促進
6. ライブラリーサイエンス専攻における教育・研究との連携
7. 成果の逐次発信
8. 評価の実施



図書館学習サポーターCute.Supporters(愛称Cuter)による学習相談および学習ガイド

博士論文のインターネット公表義務化

学位規則の改正に伴い、25年4月以降に博士の学位を授与された方は、原則、学位取得後1年以内に博士論文をインターネット公表することが義務付けられました。これにより、従来はアクセスしづらかった博士論文の利用が格段に容易になりました。

附属図書館では、学務部・各学府との連携のもと、博士論文を学術情報リポジトリ(QIR)に登録し、九大コレクションを通して公開しています。

27年3月現在、25年度の博士論文592件のうち286件の全文を公表しています。また、公表するにあたって著作権上の問題がないかといった相談への対応も随時行っています。

九大コレクション>成果文献>学位論文

<http://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/search/browse/dissertation>

Webサイトアンケート実施

25年にリニューアルしたWebサイトと検索インタフェースについて、26年12月～27年1月に利用者アンケートを実施しました。学部生・大学院生を中心に合計397件もの回答をいただきました。アンケートによって

浮かび上がった課題や、自由記述で寄せられた意見を参考に、今後Webサイトの改善を実施していく予定です。

Topics

MOOC教材の開発「Global Social Archaeology」

教材開発センターでは、26年度にMOOC (Massive Open Online Courses: 大規模公開オンライン講座) “Global Social Archaeology” を制作しました。本講座は、溝口孝司教授(比較社会文化研究院)、Claire Smith教授(Flinders University、九州大学訪問研究員)を講師とし、考古学とはどのような学問か、現代社会の諸問題といかに関わるかを理解することを学習目標としました。講座は3パートで構成されており、理解を深めるためにパート毎の確認テストと最終試験を行い、規定の成績を修めると修了証書が発行されます。グローバルな学習者を視野に入れ、全編英語での講義となっていますが、日本語・英語の字幕を実装し、英語の苦手な受講者にも対応しています。同時に、語学学習教材としても活用することが可能です。

本講座は映像コンテンツの制作を外注せず、教材開発センター所有のスタジオで制作を行いました。これにより、制作スタッフと講師の密な連携が可能となり、受講者の理解を助ける映像表現を工夫して制作を行うことができました。

講座は9月25日～10月23日、JMOOC(日本オープンオンライン教育

推進協議会)公式公認プラットフォームのOpen Learning, Japanから開講され、53ヶ国、799名の受講登録をいただきました。また、このうち222名が修了しており、JMOOCから開講されたMOOCのなかでも、トップクラスの修了率となっています。また、受講後アンケートでは、講座に対する満足度で「大変満足」と「やや満足」の回答の合計が86%に達しています。このことから、世界各国の多くの学習者の皆様に、高い学習意欲を持って受講いただけたことがうかがえます。



コースイメージ



撮影の様子

付設教材開発センターの活動

教材開発センターでは、ICTを活用した質の高い電子教材を提供し、教育の質の向上を図ることを目的に様々な事業に取り組んでいます。授業等の録画による講義ビデオ教材のYouTube、iTunesU、OCW等への公開をはじめ、関連部局と連携した3D歴史学教材、ディベート教育用教材、多言語学習教材の開発や、教員・学生協働による3D医学教材等の開発を進めています。

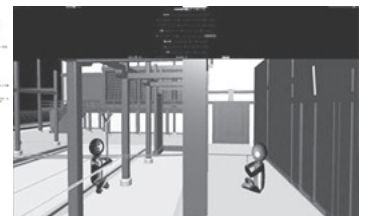
また、教材開発技術や著作権等に関する教材制作を支援するための各種FD講習会は、26年度からは部局等が希望する題材を盛り込んだ内容で実施しています。

26年度には、高品質な電子教材の開発を支援するため、新たに撮影スタジオを整備しました。このスタジオによりMOOC対応の英語教材を制作・開講し、高い評価を得ることができました。

今後は、基幹教育院をはじめ関連部局等との連携を密にし、高品質な英語教材や英語学習教材の開発・制作を通して大学教育の国際化を支援していきます。



iTunesU 授業動画のホームページ



「宮中儀礼」の3D教材

サービスの拡充

●無線LAN経由での印刷サービスを開始

学部生のPC必携化に対応したインフラ整備として、26年5月、中央・伊都・医学図書館において、個人PCやタブレット端末から学内無線LAN経由で印刷ができるサービスを始めました。

●国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供を開始

国立国会図書館が全国の図書館向けに開始したデジタル化資料送信サービスについて、26年6月、九州大学でも提供を始めました。このサービスにより、絶版等の理由で入手困難な図書、古典籍、雑誌など、約131

万点の資料が即時に利用できるようになり、学内外から研究者が閲覧に訪れています。

●Chromebookを活用したサービスを試行

Google Chrome OSを搭載したノートパソコンChromebookおよびデスクトップパソコンChromeboxについて、中央図書館・伊都図書館において利用者への貸出や蔵書検索用端末としての活用を試行しました。その有効性を検証し、本サービスへ展開していく予定です。

マイクロ資料保全対策事業を実施

田嶋記念大学図書館振興財団からの助成を受け、新中央図書館への移転に向けたマイクロ資料保全対策事業を実施しました。「マイクロ資料保存対策方針」により処置決定のための指針を明確にし、それに基づき

劣化フィルムの保全処置、複製、廃棄手続き、ガス吸着剤等の薬剤設置を行うことで、保存環境が著しく改善し、必要性の高い資料への永続的アクセスが保障できるようになりました。

図書購入依頼方法の変更

26年11月より図書受入業務を財務会計システムから図書館システムへ移行し、図書購入依頼を図書館ウェブサイトから入力する方式に変更

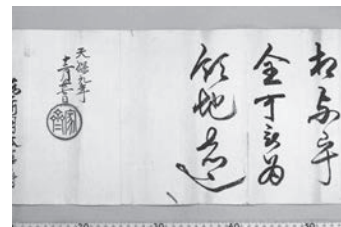
しました。将来的には、外部の選書サービスとの連携による入力支援機能の提供を目指しています。

福岡市博物館市史編さん室の増田家文書・大野家文書等調査

26年8月、福岡市博物館市史編さん室により、中央図書館が所蔵する増田家文書(支子文庫収蔵)、大野家文書等の福岡藩政に関わる近世史料群の調査、撮影が行われました。

増田家は、初め本多家に仕えた後、慶長頃黒田家に仕え、江戸初期は馬術師範ないし馬医をつとめ、江戸後期は右筆をつとめていました。そのため、増田家文書は、江戸初期に作成された馬術伝書の類と、江戸後期に作成された黒田藩主から他大名・幕臣宛書簡の書損じなどをまとめた巻物が多いことが特徴です。大野家文書は、江戸中後期の他大名や幕臣からの黒田藩主宛書簡、第十一代藩主黒田長溥(1811~1887)の書簡を中心としています。

福岡市博物館市史編さん室作成の画像と目録情報は、附属図書館Webサイトの「九大コレクション」より公開しており、今後の地域史、近世史研究に大きく寄与することが期待されます。



福岡市博物館市史編さん室の調査

第十一代將軍徳川家齊黒印状(大野家文書)

「軍師官兵衛」展に『石垣原絵図』を出版

記録資料館九州文化史資料部門では、26年3月21日から9月21日にかけて兵庫県立歴史博物館、東京都江戸東京博物館、福岡市博物館を巡回して開催された2014年NHK大河ドラマ特別展「軍師官兵衛」展に『石垣原絵図』を出品しました。

この展覧会は、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康らに仕え、激動の戦国時代末期を生き抜いた武将、黒田官兵衛の生涯を辿った展覧会で、官兵衛ゆかりの品々が一堂に会した初めての展覧会でした。

黒田官兵衛・長政父子は秀吉没後に流動化した政局のなか、家康の天下とりに奔走していきます。豊後国石垣原の戦いは、官兵衛が大友吉統を下した重要な戦いで、九州の関ヶ原とも言われます。本図からは戦場となった石垣原の景観を読み取ることができます。この『石垣原絵図』は福岡藩大老の三奈木黒田家に伝わったものです。



石垣原絵図

岩崎ゼミの崎津村文書研究

26年度前期、人文科学研究院岩崎義則准教授の日本史学実習において、記録資料館九州文化史資料部門が所蔵する崎津村文書を活用した授業が行われました。崎津村文書とは江戸時代に肥後国天草郡崎津村(現在の熊本県天草市)の庄屋を勤めていた家に伝わった資料群で、崎津村をはじめ当時の天草地域の社会がこの資料群から見えてきます。今日、崎津村といえば羊角湾に面した集落の中心にたつ天主堂が観光スポットとして知られていますが、この天主堂が立つ場所に、じつは江戸時代には庄屋の役宅があったそうです。

授業では岩崎先生の指導のもと、学生が資料の撮影と調書の作成に取り組みました。授業のなかで原資料を取り扱う機会は、これから日本史研究をはじめめる学生にとっても貴重な体験であったと思います。

今後も九州文化史資料部門では、所蔵資料の教育への活用を進めていきたいと思っています。



崎津村文書

展示会・講演会 Exhibition & Seminar

椎木講堂オープニング展示「九州大学百年の至宝」

【期 間】平成26年3月25日(火)～5月2日(金)
 【会 場】椎木講堂1階ギャラリー(伊都キャンパス)

伊都キャンパスに完成した椎木講堂のオープニングを記念した同展示会に、附属図書館からも各分野の貴重資料、約20点を出展しました。さらに4月26日(土)の椎木講堂柿落とし・開学記念式典には、初公開となる春日政治・和男文庫から、国宝級とも言われる貴重資料『金光明最勝王経』、『無量義経説法品第二 紺紙金泥写経』、慶長勅版『職原抄』を1日限りで展示しました。

九州大学がもつ超一級の宝物から、各学部・学府・研究所の研究成果まで、あらゆる宝物が一堂に会する展示会とあって、学内外から多くの方々が訪れました。



「ペシャワール会現地活動写真展～辺境の大地に根ざして～」

【期 間】平成26年5月30日(金)～6月30日(月)
 【会 場】九州大学中央図書館3階回廊

九州大学医学部の卒業生で、ペシャワール会現地代表である中村哲氏の九州大学特別主幹教授就任を記念し、同会の現地での活動を紹介

する写真約60点(解説付き)を、関連書籍とともに展示しました。

30年余にわたり、パキスタンやアフガニスタンの最前線の地で、医療のみならず、灌漑事業・農村復興事業など様々な困難に立ち向かってきたその道のりに、来場者の方は圧倒され心を動かされたようでした。

写真展「九大1968 —林崎^{ともお}价男の写真で振り返る」

【期 間】平成26年11月21日(金)～27年2月19日(木)
 第I期～第V期に分けて開催
 【会 場】九州大学中央図書館3階回廊
 【主 催】九州大学文学部・大学文書館・附属図書館
 トークイベント「九大1968 —撮影者 林崎^{ともお}价男氏を囲んで」
 【日 時】平成27年2月3日(火)
 【場 所】九州大学中央図書館4階視聴覚ホール

本写真展では、当時文学部の技官だった林崎^{ともお}价男氏が、昭和43(1968)年6月の九州大学箱崎キャンパス米軍機墜落事故から、翌44(1969)年10月の機動隊投入によるキャンパス封鎖解除までの一連の学内の動きを撮影し続けた貴重な写真全31点を、5期に分けて展示し

ました。九州大学75年史編纂の折に大学文書館に寄贈された158枚の一部を文学部がパネル化し、今回初めて一般に公開されたものです。

会場には当時の学生や教職員、地域の方々が多く訪れ、じっくりと写真を眺めてはその頃を懐かしみ、アンケートに様々な思い出を綴っていかれました。また、現役の学生や教職員からは、九大の一時代の雰囲気を感じることができたという声が聞かれ、改めて九州大学が箱崎の地に刻んできた歴史の重みを感じる展示会となりました。

会期中には、林崎氏をお招きしてトークイベントを開催し、人文科学研究院の柴田篤教授と大学文書館の折田悦郎教授とともに対談形式で当時は振り返りました。会場には、九大の元教職員や現役の学生、一般市民の方約80名が来場し、全31枚の展示写真を見ながら、林崎氏の生きた証言に熱心に耳を傾けました。また、当時学生や教職員だった参加者からは、それぞれの立場での体験談も語られ、箱崎キャンパスの歴史を象徴する一時代の空気感を、世代を超えて共有する貴重な時間となりました。



じっくりと写真を眺める来場者



トークイベントの様子

学術講演会「これからの図書館と図書館員の目指すべき方向性」

【日 時】平成26年9月2日(火) 14:00~16:40
 【会 場】九州大学中央図書館 新館4階視聴覚ホール
 【主 催】九州大学附属図書館
 【共 催】九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻
 【後 援】九州地区大学図書館協議会
 【参加者】64名

近年、インターネット技術の急速な発展、図書資料の電子化、情報提供手段の拡大等により、図書館を取り巻く環境は急速に変わりました。図書館は多様化する社会的要請や利用者の変化に応じて変革することが求められています。今回の講演会では、図書館における利用者サービスのあり方および、図書館員と利用者との相互作用の研究や、ビジネス支援サービスや医療・健康情報サービスを実践している公共図書館の調査をされてきた、慶應義塾大学メディアセンター所長(当時)の田村俊作氏と、22年10月から26年9月まで九州大学で附属図書館長を務められた川本芳昭教授(人文科学研究院)に、それぞれの経験にもとづき、これからの図書館、また図書館員の役割や目指すべき方向性についてご講演いただきました。参加者からは、大学図書館外部との関係から業務を見直す

重要性、図書館の普遍的な役割の重要性について、改めて認識できたとの声がありました。

【プログラム】

14:00-14:05 開会挨拶
 13:10-14:10 講演「これからの図書館と図書館員の役割」
 田村俊作氏(慶應義塾大学メディアセンター所長)
 15:35-16:35 講演「図書館が守るべきもの 一館長として思うこと」
 川本芳昭氏(九州大学副学長・附属図書館館長)
 16:35-16:40 閉会挨拶



田村俊作氏



川本芳昭氏

Library Lovers'キャンペーン2014

【期 間】平成26年10月20日(月)~11月16日(日)
 【会 場】各キャンパスの図書館・室

九州地区の大学図書館が合同で実施する「Library Lovers'キャンペーン」、5年目となる26年度は、37の大学図書館が参加しました。今年度の九州地区合同企画「衝撃のワンフレーズ」では、本の中で出会った衝撃のひと言を学生・教職員から募集し、投稿された「ワンフレーズ」を九州地区で共有し、各参加館で展示しました。期間中に九州中から集まった「ワンフレーズ」は850件を超え、参加図書館それぞれが工夫を凝らした展示に、学生が立ち止まってじっくり見入ったり、一緒に展示した本が次々と貸し出されたりと、非常に好評でした。

本キャンペーンでは、毎年各大学の事例を共有し参考にする事で、それぞれの大学において新たな取り組みが生まれるなどの相乗効果が見られ、九州地区全体の大学図書館の活性化にもつながっています。

本学では、合同企画のほか、以下の独自企画を実施しました。

●Talking Night

学生の興味関心を広げることを目的に、様々な分野の教員に、「今の道に進んだきっかけ」「自分を変えた◎※」について語っていただきました。



- ①10/23飯嶋秀治准教授(人環) 「『朝まで生テレビ』、聖書の解釈、父の事件」
- ②10/29矢原徹一教授(理) 「私を変えた植物の多様性」
- ③11/6柴田 篤教授(人文) 「図書と映画と人生と」
- ④11/11丸山宗利助教(博物館) 「図鑑と熱帯雨林と昆虫と」

参加者計 150名

●音楽のタベ ~SPレコード鑑賞会~

総合研究博物館・大学文書館と共催で、総合研究博物館が所有するSPレコードのなかから、クラシックを中心に各回6曲を、蓄音機で鑑賞しました。医学・伊都・芸工・中央の各図書館で実施。参加者計112名。

●ビブリオバトル首都決戦2014九州大学予選会

- ・箱崎キャンパス予選会(10月20日(月)於中央図書館きゆうと commons)
 登壇者:20名(4ゲーム実施)、観戦者: 延べ55名
 - ・伊都キャンパス予選会(11月4日(火)於鳴鳴天空広場Q-Commons)
 登壇者:6名、観戦者: 20名
- 勝ち抜いた5名が九州北部地区決戦に進出

●キャンペーン特製しおり「あなたのデザイン、しおりにします!」

しおりのデザインを学生から公募し、13作品のしおり約2600枚を各館で配布しました。

●本のリユース

キャンペーンの定番となった好評企画。今年も「他の人にも読んでもらいたい」本の交換場所を設けました。

常設展示

中央図書館2階常設展示コーナーにて、26年度は以下の展示を行ないました。

●イスラムウィーク2014(H26.3.25~5.2)(九州大学ムスリム学生会主催)

中央図書館での開催は4年目となる、九州大学ムスリム学生会主催「イスラムウィーク」。このイベントに関連してイスラム文化を紹介しました。

●シリーズ展示「標本にみる九州大学の研究」(総合研究博物館共催)

- 【第1回】九州大学の昆虫標本(H26.6.12~7.31)
 - 【第2回】九州大学の考古資料と学術研究(H.26.8.1~12.17)
 - 【第3回】九州大学の鉱石標本(H26.12.19~H27.3.20)
- 九州大学総合研究博物館所蔵の各種標本を、その由来や背景、最新の研究成果とともに紹介しました。

展示会・講演会 Exhibition & Seminar

図書館学習サポーター(Cuter)による企画イベント

26年度に企画されたイベントは以下のとおりです。

●Cuter Café

九大OBをゲストに迎え、就活を様々な視点から捉えたり、大学でやっておくべきことを考えたりするセミナー。

【第1回】キャリア研究(経営コンサルティング)

【第2回】就活する?しない?~OBに聞く人生の歩み方~

●お弁当で国際交流しませんか?

母国の料理をつめたお弁当を図書館に持ち寄り、レシピを交換し合うことで日本人と留学生とがコミュニケーションを図るイベント。

●Quricon(キュリコン)との合同企画

自分の研究内容を分かりやすく紹介して、学部学年を超えた学際交流を図るイベント。Cuterの活動方針にも合致することから、年4回のイベントにCuterも発表者として参加しています。元々は理学部・学府内のイベントでしたが、Cuterとの合同企画となったことで、文系理系の垣根を超えた活動へと進化しました。

●Cuter選書

毎月テーマを決めて、Cuterがおすすめの本を紹介する展示。「学生の間に読んでおきたい1冊」「図鑑でのぞくディープな世界」「大事な人を思い出す本」といったテーマで実施しました。

●鉱石展示

九州大学総合研究博物館による展示「九州大学の鉱石標本」でCuterが解説文を作成。また鉱物を自由に触れるよう、Cuter個人所蔵の鉱物も展示しました。



学術情報セミナー「学術情報の現在・過去・未来」

【日 時】平成26年7月17日(木) 13:00~17:00

【会 場】九州大学中央図書館 新館4階視聴覚ホール

【主 催】九州大学附属図書館、株式会社サンメディア

【後 援】九州地区大学図書館協議会

【参加者】61名

本セミナーでは、国立情報学研究所の尾城次長による学術情報流通の課題と展望についての講演のほか、初めて教材開発をテーマとして取り上げ、膨大な学術情報の適切かつ円滑な流通が課題となる中で、学術情報流通の過去、現在、未来を、参加者とともに考察しました。

【プログラム】.....

講演1「学術情報流通の課題と展望ーオープンアクセスと大学図書館」

尾城孝一氏(国立情報学研究所学術基盤推進部次長)

講演2「大学学習資源コンソーシアム(CLR)」

長丁光則氏(千葉大学アカデミック・リンク・センター)

講演3「ICTを活用した電子教材の開発と公開」

安西弥生氏、金子晃介氏(九州大学附属図書館付設教材開発センター)

セッション1「学術情報のトレンドと最新情報」

IOPP英国物理学会出版局日本事務所 (株)OUPオックスフォード大学出版局

(株)シュプリンガー・ジャパン ネイチャー・パブリッシング・グループ

ワイリー・ジャパン (株)カルガー・ジャパン

講演4「One ProQuest」

武智則之氏(ProQuest日本支社)

e-Port UpDate

セッション2「ディスカバーサービスの未来を読み解く~Summonの導入事例から~」

長谷川智史氏((株)サンメディア)

北山信一氏(鹿児島大学附属図書館情報管理課)

図書館マーケティングに関する講演会

【日 時】平成26年6月11日(水) 13:00~15:00

【会 場】九州大学中央図書館 新館4階視聴覚ホール

【主 催】九州大学附属図書館

【共 催】福岡アメリカン・センター、

九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻

【参加者】83名

図書館の予算が減少し、図書購入費や人件費の確保が難しくなっているのは、日本だけでなく、アメリカも同様です。アメリカのニュージャージー州で、図書館のサービス継続のためにトレンド分析やマーケティングを行った経験を持つ米国大使館情報資料担当官のアルカ・バトゥナガー氏を迎え、米国の大学、公共図書館におけるトレンド分析や、ビジネス、キャリア支援などの実例とその考え方についてご講演していただきました。

講演会「インフォプロと図書館の新たな役割」

【日 時】平成26年8月1日(金) 18:00~19:30

【会 場】福岡アメリカン・センター

【主 催】福岡アメリカン・センター

【共 催】九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻、

九州大学附属図書館

【後 援】福岡県図書館協会、九州地区大学図書館協議会、

専門図書館九州地区協議会、別府大学司書・司書補講習

【参加者】66名

インターネットの普及や情報技術の進展の影響を受け、インフォプロや司書に求められる資質や能力も変化しています。本講演では、米国図書館協会(ALA)会長で、会長イニシアティブとして、Libraries Change Livesを掲げて図書館の重要性を提言するバーバラ K. ストリプリング氏を迎え、地域の学校図書館、公共図書館をはじめ、全ての図書館におけるインフォプロや図書館司書の教育的役割についてご講演していただきました。また、日々変化する司書やインフォプロへの資質、能力に対応するため、ALAがどのような取り組みをしているのかについてもお話いただき、参加者から多くの質問が寄せられました。

国際化 Internationalization

加速する大学のグローバル化に伴い、附属図書館では数年前から留学生支援に重点的に取り組んでいます。24年度から実施している新入留学生向け図書館ツアーは、26年度は、前後期併せて、全新入留学生の約45%に当たる293名の留学生が参加しました。また、英語だけで学位が取得できる国際コース向けに英語での講習会も実施しています。

特に26年度は、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業(タイプA:トップ型)」に九州大学が採択されたことを受け、図書館でも国

際化に対応したさらなるサービス拡充のために、関係部署との意見交換やニーズ調査を実施しました。留学生の図書館利用状況調査、国際化学学生委員会(SCIKyu)との意見交換などを行い、現状とニーズの把握、課題の洗い出しにより今後の対策を検討しています。また、伊都図書館では、語学学習支援のため、1F国際交流コーナーに「英語多読図書コーナー」を設置し、多読用図書の整備を始めました。

「スーパーグローバル大学創成支援事業」で整備した学修・研究資料

国際化にかかる資料充実の一環として、伊都図書館に語学学習用図書約200冊、英語の多読図書約800冊(冊子)と、併せて電子ブック約2,400タイトルを整備しました。

さらに、中国最大の学術文献オンラインサービスであるCNKIに収録されるCAJ(中国学術雑誌)、韓国を代表する電子ジャーナルデータベースであるKISSおよびDBpiaの人社系分野のデータベースを導入しました。

交流協定図書館との資料交換(平成26年度)

九州大学 → ソウル大学校 九州大学出版会図書26冊を寄贈
九州大学 → 慶北大学校 九州大学発行の紀要13冊を寄贈

ソウル大学校 → 九州大学 ソウル大学出版会図書30冊を受贈

海外との往来

一往訪一

【訪問者】北島 光朗(デジタルライブラリ担当)

【日 程】平成26年8月7日～8月11日

【訪問先】シンガポール

【目 的】シンガポール国立図書館訪問及び国際会議6th International Conference on Education Technology and Computer参加

【訪問者】渡邊 由紀子(利用支援課長・准教授)

【日 程】平成26年8月16日～8月24日

【訪問先】リヨン(フランス)

【目 的】IFLA WLIC 2014 出席

【訪問者】工藤 絵理子(eリソースサポート係)

【日 程】平成26年8月30日～9月4日

【訪問先】ロンドン(イギリス)

サセックス大学、在英日本国大使館、ブリティッシュカウンシル本部

【目 的】イギリスの高等教育機関との意見交換

【訪問者】吉田 素文(副館長)

沖 政広(eリソースマネジメント係長)

【日 程】平成26年9月16日～9月19日

【訪問先】キャンベラ及びシドニー(オーストラリア)

The Australian National University及びThe University of New South Wales

【目 的】オーストラリアの大学における電子ジャーナル契約に関する訪問調査

【訪問者】石田 栄美(准教授)

渡邊 由紀子(利用支援課長・准教授)

兵藤 健志(eリソースサポート係長)

【日 程】平成27年3月19日～3月30日(※石田准教授は3/23まで)

【訪問先】シアトル、ロサンゼルス、ポートランド(アメリカ合衆国)

ワシントン大学、CSUN、UCLA、ポートランド大学他

【目 的】北米の大学図書館訪問調査及びACRL2015参加



シンガポール国立図書館



ポートランド大学クラーク図書館



CSUNオヴィアット図書館での意見交換

講習会 Library Workshops

利用者が学習・研究を行う上で必要な文献や情報を、効率よく探し出し活用できるよう、様々な講習会を開催しています。26年度は、各種講習会の実施回数や開催場所(キャンパス)を拡充したほか、図書館学習サ

●新入大学院生向け文献の探し方

毎年4~5月に各キャンパスで開催しています。他大学から進学してきた大学院生や研究室に配属になった学部4年生を主な対象に、九州大学における文献の探し方と本文の入手方法を紹介するものです。

各回とも多くの参加者が集まるだけでなく、オンデマンドで開催を依頼する学部や研究室もありました。

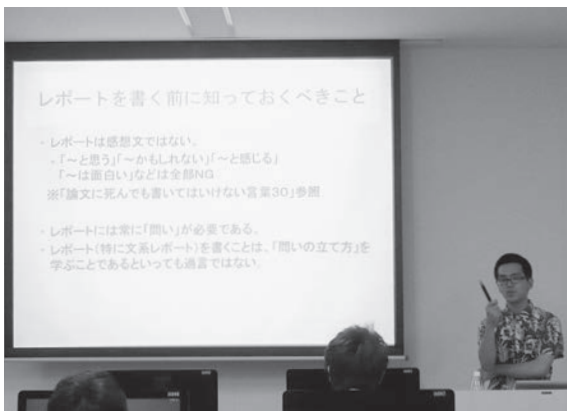
●英語論文の技とコツ

これまでScopusの利用説明会を毎年開催していましたが、利用者のニーズにさらに応えるために、世界有数の学術出版社であるエルゼビアと英文校正会社の協力を得て、箱崎・伊都・病院地区で10月に開催しました。出版社と英文校正者それぞれの立場から英語論文執筆のコツを紹介しました。図書館の講習会では初の試みでしたが、約300名もの参加があり、論文執筆講座に対するニーズの高さがうかがえました。



●レポートの書き方/プレゼン講座

伊都図書館では、基幹教育の授業支援として、1年生を対象にした講習会を新規に企画しました。職員と図書館学習サポーター(Cuter)が共同で講師を務める「1年生向けレポートの書き方講座」を5月に、「1年生向けプレゼン講座」を6月に開催した後、全てをCuterが担当する「パワーアップ!1年生向けレポートの書き方講座」を7月に実施しました。急遽追加の回も組まれるほど多数の学生が参加した講習会となりました。



ポーター(Cuter)を講師とする1年生むけ講習会も行うなど、新規の講習会を多く実施しました。学生や教職員のニーズに沿って、ターゲットを明確にした講習会も数多く計画・実施しています。

平成26(2014)年度実績

●目的・対象別講習会

図書館職員が講師となり、特定の検索ツールに絞らず、利用者の目的に合ったツールのさまざまな使い方や選び方を紹介する講習会です。26年度は文献収集や文献管理などの情報のインプット方法だけでなく、レポートの書き方や論文執筆といった、学習・研究成果のアウトプットの仕方に関する講習会も実施しました。

内容	回数	人数
新入大学院生向け文献の探し方	6	172
文献の探し方【基本編】	8	68
文献の探し方【文系編】	6	62
文献の探し方【理系編】	16	214
文献整理法	23	226
英語論文の技とコツ	4	293
1年生向けレポート書き方講座	6	225
1年生向けプレゼン講座	3	64
パワーアップ!1年生向けレポートの書き方講座	6	49
事務職員のための文献入手法	1	18
文献調査法:CIとIFの調べ方	1	8
病院キャンパスで役立つデータベース・ツール	2	11
計	82	1,410

●ツール別講習会

特定分野をカバーする専門性の高いデータベースについて、提供元から講師を招いて行う講習会です。(PubMed基礎編/応用編は図書館職員が担当)

内容	回数	人数
化学情報の探し方(SciFinder)	10	83
PubMed基礎編	5	74
PubMed応用編	5	72
医歯薬学系日本語論文の探し方(医中誌Web)	2	27
Primal Pictures	2	61
UpToDate	2	6
Eighteenth Century Collections Online (ECCO)	2	12
日経NEEDS	1	15
就活にも役立つ企業分析の方法!(eol)	1	5
企業分析の方法!(eol)	1	3
Lexis.com	1	26
レポートに使える!企業情報の調べ方(日経テレコン21)	1	9
判例情報の探し方(LEX/DB)	1	6
計	34	399

●オンデマンド講習会

利用者からの要望に応じて、日程、内容等を設定し、図書館職員が講師となつて行うものです。ほとんどが授業の一環として行われており、授業と連携した学習・教育支援として重要な活動になっています。英語のみで学位が取得できる国際コースの授業には英語での講習会も提供しています。

対象	回数	人数
文学部・人文科学府	3	89
人間環境科学府	3	23
経済学部・経済学府	6	89
理学部・理学府	1	4
農学部・生物資源環境学府	4	58
医学部・医学系学府・病院	8	226
薬学部・薬学府	1	4
21世紀プログラム	1	24
基幹教育	7	170
工学部	4	325
理学部数学科・数理学府	2	73
地球社会統合科学府	1	8
言語文化研究院	1	16
芸術工学府	1	8
留学生センター・国際コース	2	9
男女共同参画推進室	1	4
計	46	1,130

新規コレクション

◆大型図書資料

人文社会科学分野の研究資料の充実のため、大型図書資料として以下の4点を購入しました。

●**ジョン・G・モリス旧蔵“報道写真・報道写真家”コレクション(604点)**
元ライフ誌、ワシントン・ポスト紙、ニューヨーク・タイムズ紙の著名な写真編集者であり、Magnum Photos の初代編集長を務めた、ジョン・G・モリス氏旧蔵のコレクションです。モリス氏は、アンリ・カルティエ＝ブレッソンやロバート・キャパ等、著名な報道写真家と仕事を共にしており、コレクションには100冊以上の署名本や贈呈本も含まれています。

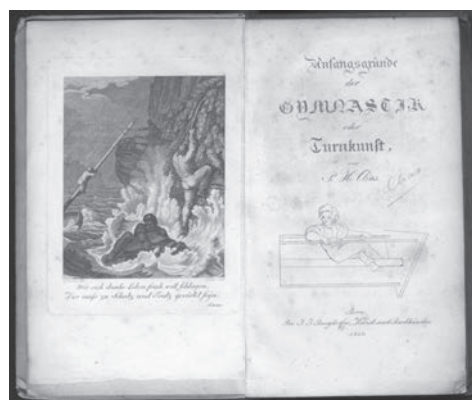
●**イラクを中心とした中東情勢マイクロコレクション**
(英国インド局政治・機密ファイル:マイクロフィッシュ675枚)
(シンクタンクによる中東情勢特別調査報告書集:マイクロフィルム133リール)

第一次大戦中の英国占領、第一次大戦後の英国委任統治時代のイラクの情勢を英国インド局政治部が収集した機密ファイルおよび、イラクを中心とした中東情勢に関する米国主要シンクタンクの特別調査報告書からなるマイクロコレクションです。イラクを含め中東の各国の政治情勢、政党情報などその当時の英国、米国の在外交職員が重要であると認識した、政治的覚書、翻訳された新聞記事など各種多様の資料が収録されています。

●**Chartae Latinae Antiquiores**
(Vol. 56-84, 88-92, 105-107. 37 vols.)
西洋中世のオリジナル文書資料のファクシミリ版で、西洋中世資料研究・教育において現在もっとも信頼できる大規模な資料図解出版事業で

す。古書体学、文書形式学、書冊学をはじめとする史料学研究・教育のための基盤資料をなすものとなっています。

●**ドイツ近代体育教育文献コレクション(27点)**
19世紀における「ドイツ式体操(Turnen)」は、身体の馴致、「兵士の身体」の鍛造へとつながり、ドイツ・ナショナリズムと密接な関係にあります。当コレクションは、体育教育の生みの親と言われるヤーンが始めた「ドイツ式体操」に関する最初期の理論書・指導書を中心とし、ドイツ身体論の祖グーツムーツやベルリンの体育教師アンガーシュタインの著作等も収録されています。



クリアス『体育と器械体操の基礎』1820年
(ドイツ近代体育教育文献コレクション)

新規電子化コンテンツ

本学所蔵コレクションから、26年度は以下の資料等を電子化・公開しました。

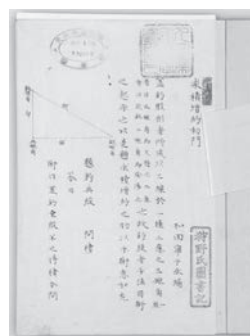
九大コレクション>貴重資料

<http://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/search/browse/rare>

●**桑木文庫(中央図書館所蔵 42点86冊)**
故九州大学工学部教授桑木彥雄(1878-1945)が蒐集した科学史文献のうち、24年度に数理学研究院で電子化された数学書・和算書を公開しました。Descartes, R. “Œuvres de Descartes”(デカルト全集)、吉田光由『塵劫記』、建部賢弘・関孝和『研幾算法』などの画像をご覧ください。

●**細川文庫(中央図書館所蔵 347点)**
宇土細川家の国文関係を中心とする旧蔵書で、『伊勢物語』伝為家筆本、『うつほ物語絵巻』、『狭衣物語』などの貴重資料が収められています。このたび、宇土市教育委員会(熊本県)より提供いただいた画像を公開しました。一部の資料はこれまでも画像ビューア上でご覧いただくことができましたが、PDFファイルをダウンロードできるようになりました。

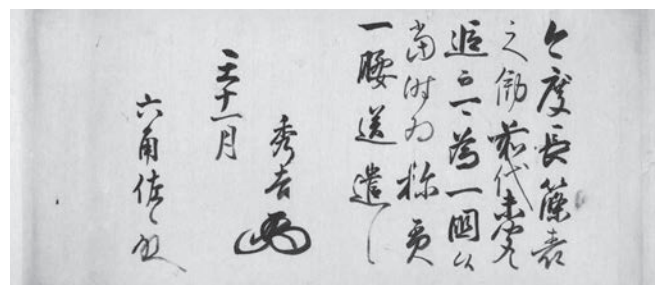
●**増田家文書・大野家文書・大野家旧蔵本(中央図書館所蔵 334点)**
福岡市博物館の市史編さん室による史料調査に伴い撮影された、増田家文書(支子文庫収蔵)および大野家文書、大野家旧蔵本の画像を提供いただきました。各資料の目録情報も上記の調査にもとづき作成されています。



和田寧『求積増約初門』(桑木文庫)



『藤孝事記』(細川文庫)



増田家文書の書状(長篠合戦での戦功に対する褒状)

研究開発室 Research & Development

平成26年度研究開発室研究開発事項

● 総括

研究開発の総括	川本 芳昭 (附属図書館長、副学長)	大学における学術情報の収集、加工、蓄積、提供及びその他図書館が行う学習・教育・研究支援活動の改善に関する事項のうち、九州大学附属図書館研究開発室において行う課題を指定し総括する。
---------	--------------------	---

● I 図書館運営に関する分野

情報専門職の育成に関する調査研究	石田 栄美 (研究開発室) 岡崎 敦 (人文科学研究院)	図書館職員の専門性および次世代を担う情報専門職の育成をはかるための調査研究を行う。
国内外の図書館間連携および新図書館計画に関する調査研究	吉田 素文 (副館長) 石田 栄美 (研究開発室) 堀 賀貴 (人間環境学研究院) 松原 孝俊 (韓国研究センター)	研究・開発分野での大学図書館間の連携をすすめるとともに、新図書館に必要とされる図書館機能と、それを実現するための施設設備・サービスに関する調査研究を行う。
マーケティングおよび新サービスの創出に関する調査研究	馬場 謙介 (研究開発室) 池田 大輔 (システム情報科学研究院) 藤崎 清孝 (システム情報科学研究院) 伊東 栄典 (情報基盤研究開発センター) 森 雅生 (大学評価情報室) 南 俊朗 (九州情報大学) 井上 創造 (九州工業大学)	利用状況の分析を基にした図書館マーケティングと、それを活用したサービス・利用環境の改善、新たなサービスの創出に関する調査研究を行う。
資料保存に関する調査研究	三輪 宗弘 (付設記録資料館)	本学が所蔵する資料の保存・管理体制に関する調査研究を行う。

● II 学習・教育活動との連携に関する分野

学習・教育支援に関する調査研究	吉田 素文 (副館長) 富浦 洋一 (システム情報科学研究院) 池田 大輔 (システム情報科学研究院) 井上 仁 (情報基盤研究開発センター) 山田 政寛 (基幹教育院) 森 雅生 (大学評価情報室)	九州大学における学習・教育活動と連携した新たな教育支援のあり方について調査研究を行う。
教材開発および著作権処理に関する調査研究	岡田 義広 (付設教材開発センター) 吉田 素文 (副館長) 井上 仁 (情報基盤研究開発センター)	インストラクショナルデザインに基づいた教材、教育方法の研究開発と、教材作成にかかわる著作権処理問題について調査研究を行う。

● III コンテンツ形成および学術情報発信に関する分野

コンテンツ形成に関する調査研究	川平 敏文 (人文科学研究院) 中里見 敬 (言語文化研究院) Wolfgang Michel (特別研究員) 三輪 宗弘 (付設記録資料館)	九州大学が所蔵する貴重資料、コレクション等について、その由来や内容、価値等の調査を行うとともに、その画像及び書誌データベース作成についての調査研究を行う。
学術情報の流通および発信に関する調査研究	馬場 謙介 (研究開発室) 吉田 素文 (副館長) 荒木啓二郎 (システム情報科学研究院) 竹田 正幸 (システム情報科学研究院) 富浦 洋一 (システム情報科学研究院) 池田 大輔 (システム情報科学研究院) 田中久美子 (システム情報科学研究院) 廣川佐千男 (情報基盤研究開発センター) 森 雅生 (大学評価情報室)	九州大学が蓄積する学術情報資源をより効果的に発信するために、学術情報リポジトリ(QIR)等の発信機能の高度化、システム間連携、検索システムに関する研究開発を行う。

● 医学図書館所蔵コレクション・文庫調査、情報発信強化

コンテンツ形成に関する調査研究班では、26年度の取組みとして、本学の学祖である大森治豊教授旧蔵本調査を行いました。その中で、歴代医学部教授や卒業生の旧蔵本、個人文庫など、従来あまり知られていなかった価値ある資料も多く発見されました。このような資料に関する情報発信強化のため、図書館ウェブサイトの医学図書館所蔵コレクションに、整理済みの大森治豊文庫、小川文庫、宮入文庫、眼科学教室貴重書、杏仁医館文庫のページを新規追加しました。



発見された資料の蔵書印、蔵書票、署名

学習・教育支援に関する専門性向上研修

大学には学生の主体的な学びを促す教育への転換が求められています。この新たな教育のあり方にふさわしい図書館職員の能力開発を目指して、26年度は3回の研修会を開催しました。

● 第一回：図書館での学びをデザインするために

【開催日】平成26年11月27日(木)

【講師】益川弘如准教授(静岡大学) 合田美子准教授(熊本大学)

【参加者】九州地区を中心に23大学41名の図書館職員

【内容】学習科学やインストラクショナル・デザインに関する講義およびワークショップ。
国立大学図書館協会地区協会助成事業による実施。

● 第二回：図書館での学びをデザインしよう

【開催日】平成27年1月22日(木)

【講師】益川弘如准教授(静岡大学)

合田美子准教授(熊本大学)

山田政寛准教授(基幹教育院)

【参加者】九州大学の図書館職員9名

【内容】学習科学やインストラクショナル・デザインの知見をふまえ、九州大学附属図書館固有の課題について参加者が改善策を提案。
九州大学教育の質向上支援プログラム(EEP)による実施。

● 第三回：レファレンスサービスの能力を高める

【開催日】平成27年3月3日(火)

【講師】工藤絵理子(eリソースサービス室) 梶原瑠衣(医学図書館)

【参加者】九州大学の図書館職員17名、図書館学習サポーター1名

【内容】外部機関主催のレファレンスサービス関連の研修会に平成26年度に参加した図書館職員2名による講義。
九州大学教育の質向上支援プログラム(EEP)による実施。

大学図書館利用促進事例発表会『そのアイデア、いただきます!』

Library Lovers' キャンペーンでの各大学のこれまでの取り組み事例及びアイデアを共有し、自館の図書館利用促進及びキャンペーン実施に活かすことを目的に開催しました。各大学の特色に応じた多様な取り組みが紹介され、その苦労や工夫などを直接聞くことができる貴重な機会となりました。

【開催日】平成26年8月7日(木) 15:00-17:00

【場所】九州大学箱崎キャンパス 21世紀交流プラザII セミナー室

【主催】九州地区国立大学図書館協会

(国立大学図書館協会地区助成事業)

【対象】九州地区の国公立大学図書館職員

【参加者】31名(高校生2名含む)

【内容】

○事例発表 4件(福岡国際大学・福岡女子短期大学図書館、志学館大学図書館、佐賀大学附属図書館、九州大学附属図書館)

○事例ポスターの展示 14大学15館

○キャンペーングッズ、リーフレット等の展示

平成26年度図書系職員初任者研修

新任図書系職員に対し、九州大学附属図書館の理念、目標や現在取り組んでいる主な事業等を理解させるとともに、図書館業務遂行に必要な基礎知識を習得させることを目的として実施しています。

【プログラム】

5/15(木) 九州大学附属図書館の概要と図書館業務の流れ

中期計画・年度計画について

ネットワークとセキュリティ

各係業務説明(利用支援)

各係業務説明(資料整備)

5/16(金) 学術情報流通と発信

大学図書館の学修教育支援

大学図書館の留学生および留学支援

文献検索演習

統合移転と新図書館計画

伊都図書館&嘸鳴天空広場見学

これらの講義は、初任者以外の職員も多数聴講し、自己研鑽を深める契機ともなっています。

目録システム地域講習会(雑誌コース)

国立情報学研究所と共催で、26年度は目録システム地域講習会雑誌コースを開催しました。

【開催日】平成26年8月20日(水)~22日(金)

【参加者】16名

【内容】総合目録データベースの構成、内容、データ登録の考え方(入力基準)の修得

統計 = 利用サービス = Statistics

平成26(2014)年度

			中央図書館 Central Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	伊都図書館 Ito Lib.	嚶鳴天空広場 Q-Commons	文系合同図書室 Human.& Soc.Sci.Lib.	合 計 Total
年間開館日数 Opening days (日)	平日 Weekday		242	239	244	241	241	172	228	1,607
	土曜 Saturday		50	45	31	47	49	0	39	261
	日曜・祝日 Others		61	61	4	0	60	0	0	186
	合 計 Total		353	345	279	288	350	172	267	2,054
入館者数 Visitors (人)	教職員 Faculties		18,302	8,445	2,555	8,249	10,530	57	2,940	51,078
	学 生 Students		349,249	126,025	22,734	32,994	278,946	136,340	18,393	964,681
	学外者 Others		31,042	4,903	599	6,417	8,050	0	346	51,357
	合 計 Total		398,593	139,373	25,888	47,660	297,526	136,397	21,679	1,067,116
貸出冊数 Circulations(Items) (冊)	教職員 Faculties		8,089	2,728	1,594	1,532	10,020	71	12,463	36,497
	学 生 Students		65,816	9,204	14,184	5,671	71,985	2,443	37,489	206,792
	学外者 Others		2,051	137	219	224	433	0	33	3,097
	合 計 Total		75,956	12,069	15,997	7,427	82,438	2,514	49,985	246,386
貸出者数 Circulations(Users) (人)	教職員 Faculties		4,469	1,432	873	1,052	5,887	57	6,123	19,893
	学 生 Students		37,597	6,334	6,394	3,843	42,035	1,727	20,855	118,785
	学外者 Others		1,442	110	133	151	274	0	7	2,117
	合 計 Total		43,508	7,876	7,400	5,046	48,196	1,784	26,985	140,795
文献複写件数 Resource Sharing(copies) (件)	学外からの受付(国内) Requests(Domestic)		3,359	11,693	210	-	852	-	-	16,114
	学外からの受付(国外) Requests(International)		81	0	0	-	0	-	-	81
	小計 Subtotal		3,440	11,693	210	-	852	-	-	16,195
	学内からの受付 Request within KU (内、E-DDS件数) (E-DDS of above)		1,495 (390)	984 (297)	111 (23)	79 (33)	492 (181)	- (-)	- (-)	3,161 (924)
	合 計 Total		4,935	12,677	321	79	1,344	-	-	19,356
	(うち謝絶) (cancel)		801	1,832	45	0	147	-	-	2,825
	学外への依頼(国内) Received(Domestic)		2,786	2,315	287	278	1,473	-	-	7,139
	学外への依頼(国外) Received(International)		25	12	2	0	0	-	-	39
	合 計 Total		2,811	2,327	289	278	1,473	-	-	7,178
	(うち謝絶) (cancel)		690	130	15	11	176	-	-	1,022
相互貸借件数 Resource Sharing(Loans) (件)	学外からの受付(国内) Borrows(Domestic)		1,114	22	144	6	606	-	-	1,892
	学外からの受付(国外) Borrows(International)		16	0	3	0	0	-	-	19
	合 計 Total		1,130	22	147	6	606	-	-	1,911
	(うち謝絶) (cancel)		280	4	27	0	90	-	-	401
	学外への依頼(国内) Loans(Domestic)		902	32	67	26	478	-	-	1,505
	学外への依頼(国外) Loans(International)		9	0	0	0	0	-	-	9
	合 計 Total		911	32	67	26	478	-	-	1,514
(うち謝絶) (cancel)		174	9	5	0	63	-	-	251	
レファレンス件数 Reference inquiries (件)	教職員 Faculties		247	682	49	13	332	0	149	1,472
	学 生 Students		1,775	1,347	217	88	2,631	837	2,240	9,135
	学外者 Others		476	482	33	33	208	0	598	1,830
	合 計 Total		2,498	2,511	299	134	3,171	837	2,987	12,437
	所在調査 Holdings		507	107	49	46	744	26	2,390	3,869
	事項調査 Topics		151	54	47	5	241	3	149	650
	利用指導・その他 Instructions /Others		1,840	2,350	203	83	2,186	808	448	7,918
合 計 Total		2,498	2,511	299	134	3,171	837	2,987	12,437	

※文献複写・相互貸借件数には謝絶も含む

電子ジャーナルの利用 (主要パッケージのフルテキストダウンロード数)

E-Journals

Full-text downloads in major e-Journal packages

2014.1.1-12.31

パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads	パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads
American Chemical Society (ACS)	245,825	JSTOR Arts & Sciences I, II	19,566
American Institute of Physics (AIP)	48,489	Nature Site License	222,326
American Physical Society (APS)	29,246	ProQuest Central	35,586
CiNii*	155,079	Science online	45,074
Elsevier ScienceDirect Freedom Collection	1,032,717	SpringerLink	157,580
Journals@Ovid	7,544	Wiley Online Library	294,265
		合計 Total	2,293,297

※国内誌

情報検索サービスの利用

Databases

2014.1.1-12.31

種別 Type	サービス名 Database name	説明 Description	検索回数 Searches	セッション数 Sessions
ディスカバリサービス Discovery services	世界の文献	ディスカバリ(グローバル)	715,523	-
	九大コレクション	ディスカバリ(ローカル)	1,728,131	-
文献情報 Abstracts & index databases	CiNii	全分野(国内)	302,781	82,964
	Scopus	全分野	225,160	68,328
	SciFinder	化学	181,173	37,416
	Web of Science	全分野	172,105	40,692
	医中誌Web	医学(国内)	146,739	49,879
	Business Source Complete (EBSCOhost)	経済・経営学	6,805	4,290
	Econlit (EBSCOhost)	経済学	4,999	2,694
	MEDLINE (Ovid)	医学	4,903	1,098
	PsycINFO (Ovid)	心理学	3,800	766
	CINAHL (EBSCOhost)	看護学	2,105	568
	EBM Reviews (Ovid)	医学	1,807	926
ERIC (Ovid)	教育学	220	143	
事典類 References	JapanKnowledge	(国内)	109,828	15,536
	Gale Virtual Reference Library		77	337
	理科年表プレミアム	(国内)	-	201
	化学書資料館	(国内)	-	5,734
新聞 Newspaper articles	研究社オンライン・ディクショナリー		-	581
	聞蔵II ビジュアル for Libraries	朝日新聞など	-	7,193
	西日本新聞記事データベース「パピルス」	西日本新聞記事	5,833	-
	毎日新聞社データベース「毎索」	毎日新聞記事	5,491	1,262
その他 Others	ヨミダス歴史館	読売新聞など	7,404	-
	Journal Citation Reports [JCR]	インパクトファクター	9,763	11,534
	RefWorks	文献管理	-	5,064
	きゅうとLinQ	リンクリゾルバ	599,689	-
	きゅうとE-Journals	電子ジャーナル集	65,644	-
	マイページ	図書館ポータル	-	143,551

学内配送サービスの利用 (図書の貸出・返却に学内配送システムを利用した回数)

Inter-campus book delivery

平成26(2014)年度

から from	へ to	中央図書館 Central Lib.	文系合同図書室 Human. & Soc. Sci. Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	伊都図書館 Ito Lib.	嚶鳴天空広場 Q-Commons	計 Total
中央図書館 Central Lib.			4,219	719	1,850	743	7,757	328	15,616
文系合同図書室 Human. & Soc. Sci. Lib.		4,960		99	471	81	2,261	163	8,035
医学図書館 Medical Lib.		983	131		167	115	716	23	2,135
芸術工学図書館 Design Lib.		1,898	494	143		166	1,375	67	4,143
筑紫図書館 Chikushi Lib.		869	105	126	199		900	35	2,234
伊都図書館 Ito Lib.		6,549	2,119	645	1,286	772		231	11,602
嚶鳴天空広場 Q-Commons		523	194	20	78	22	3,029		3,866
計 Total		15,782	7,262	1,752	4,051	1,899	16,038	847	47,631

統計 = 基盤サービス = Statistics

図書・雑誌(冊子体)の受入 Current acquisitions of materials

平成26(2014)年度

		図書受入冊数 Current acquisitions of books (冊)			雑誌受入種類数(冊子体) Current serials title (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和雑誌 CJK	洋雑誌 Western	計 Total
中央図書館	中央図書館 Central Library	5,568	1,574	7,142	1,387	146	1,533
	理学研究院 Faculty of Sciences	178	280	458	204	144	348
	農学研究院 Faculty of Agriculture	1,807	348	2,155	689	377	1,066
	小計 Central Library Total	7,553	2,202	9,755	2,280	667	2,947
医学図書館	医学図書館 Medical Library	1,058	803	1,861	563	280	843
	医学研究院 Faculty of Medical Sciences	566	520	1,086	58	16	74
	歯学研究院 Faculty of Dental Science	3	1	4	11	13	24
	薬学研究院 Faculty of Pharmaceutical Sciences	0	7	7	2	0	2
	生体防御医学研究所 Medical Institute of Bioregulation	0	0	0	0	0	0
	病院(医・歯) University Hospital	36	62	98	73	72	145
	小計 Medical Library Total	1,663	1,393	3,056	707	381	1,088
芸術工学図書館 Design Library	2,312	394	2,706	454	92	546	
筑紫図書館	筑紫図書館 Chikushi Library	634	127	761	240	34	274
	総合理工学研究院 Faculty of Engineering Sciences	4	3	7	13	0	13
	応用力学研究所 Research Institute for Applied Mechanics	0	0	0	14	4	18
	先端物質化学研究所 Institute for Materials Chemistry and Engineering	0	0	0	1	0	1
	小計 Chikushi Library Total	638	130	768	268	38	306
伊都図書館	伊都図書館 Ito Library	7,844	3,650	11,494	558	26	584
	比較社会文化研究院 Faculty of Social and Cultural Studies	1,294	451	1,745	167	77	244
	言語文化研究院 Faculty of Languages and Cultures	882	479	1,361	16	47	63
	数理学研究院 Faculty of Mathematics	181	1,933	2,114	34	432	466
	工学研究院 Faculty of Engineering	209	252	461	186	168	354
	システム情報科学研究院 Faculty of Information Science and Electrical Engineering	87	105	192	45	22	67
	基幹教育院 Faculty of Arts and Science	227	53	280	17	8	25
	キャンパスライフ・健康支援センター Counseling and Health Center	98	0	98	0	0	0
	小計 Ito Library Total	10,822	6,923	17,745	1,023	780	1,803
文系合同図書室	文学部 School of Letters	6,631	3,307	9,938	2,551	294	2,845
	教育学部 School of Education	344	171	515	691	64	755
	法学研究院 Faculty of Law	3,208	2,050	5,258	701	288	989
	経済学研究院 Faculty of Economics	1,445	909	2,354	627	217	844
	人環 都市・建築学部門 Faculty of Human-Environment Studies, Dep. of Arch. & Urban Design	573	171	744	28	43	71
	小計 Humanities and Socialsciences Library Total	12,201	6,608	18,809	4,598	906	5,504
別府病院 Beppu Hospital	0	0	0	37	5	42	
記録資料館 Manuscript Library	498	17	515	400	3	403	
合計 Total	35,687	17,667	53,354	9,767	2,872	12,639	

(注1) 図書受入数及び雑誌受入種類数は、図書館・室の単位で大区分を行い、その中を部局・附属研究所・全国共同利用施設の単位で展開している。学内共同教育研究施設及び学内共同利用施設等の受入数については、それらの施設の事務処理を行う館・室の項目に計上している。

(注2) 統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所、マス・フォア・インダストリ研究所は、伊都図書館の項目に計上している。

(注3) 図書受入冊数は、資産として受入された図書の冊数である。

資料費

Expenditures for library materials

平成26(2014)年度
(単位:千円/thousand yen)

		図書費 Books	雑誌・新聞費 Serials	eリソース Electronic resources	その他 Others	資料費総額 Total
中央図書館	Central Library	66,278	53,399	550,278	18,822	688,777
医学図書館	Medical Library	20,916	14,838	15,185	2,159	53,098
芸術工学図書館	Design Library	14,444	6,798	168	1,207	22,618
筑紫図書館	Chikushi Library	12,884	3,336	62	84	16,366
伊都図書館	Ito Library	101,544	66,304	8,942	3,028	179,818
文系合同図書室	Human. & Soc. Sci. Lib.	112,749	59,514	24,051	7,278	203,592
別府病院	Beppu Hospital	0	29	168	0	198
記録資料館	Manuscript Library	2,253	139	0	161	2,553
合計	Total	331,069	204,357	598,855	32,739	1,167,019

(注1) 全学共通の電子ジャーナルは、一括して中央図書館に計上。

(注2) eリソースにはEJ、DB、その他電子ツールを含む。

(注3) 資料費総額には、視聴覚資料・製本費等、その他の資料に関する費用も含む。

(注4) 情報基盤研究開発センターは中央図書館に計上。

電子ブック・電子ジャーナル

E-Books and E-Journals

平成27(2015)年5月1日現在

アクセス可能な電子ブック(無料タイトル含む)

Accessible e-books (including free titles)

純タイトル数 Unique titles 100,046

アクセス可能な電子ジャーナル(無料誌含む)

Accessible e-Journals (including free titles)

純タイトル数 Unique titles 84,080

電子ジャーナル契約タイトル数

Licensed e-Journals

平成26(2014)年度

出版社等 Publisher	タイトル数 Titles	出版社等 Publisher	タイトル数 Titles
American Chemical Society (ACS)	48	LexisNexis: Academic & lexis.com	10,256
American Institute of Physics (AIP)	12	Lippincott Williams and Wilkins (LWW)	25
American Physical Society (APS)	9	Medical Online Library (MOL) *	1,296
American Society of Mechanical Engineers (ASME)	26	Nature Publishing Group	34
Association for Computing Machinery: ACM Portal	1,141	OECD iLibrary	196
Cambridge University Press	37	Oxford University Press	263
Cell Press	11	ProQuest Central	16,748
Chemical Society of Japan (CSJ) *	2	Science (AAAS)	3
CiNii *	599	SpringerLink	1,653
EBSCOhost: Business Source Complete	14,363	Taylor & Francis	118
EBSCOhost: EconLit with Full Text	693	UniBio Press *	7
Elsevier ScienceDirect	2,125	University of Chicago Press	10
IEEE: ASPP Online, POP Online	296	Wiley Online Library	1,451
IEICE *	8	World Scientific Publishing	14
Institute of Physics (IOP)	12	日本物理学会(JPS)*	1
Journals@Ovid	7	その他	547
JSTOR: Arts & Sciences Collection I-II	378		
		合計 Total	52,389

※国内誌

蔵書数

Holdings

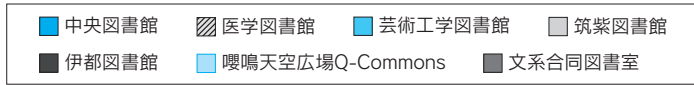
平成27(2015)年3月31日現在

	図書所蔵冊数 Books (冊)			雑誌所蔵種類数 Serials (種)		
	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total
中央図書館	610,587	375,738	986,325	18,046	11,943	29,989
医学図書館	147,167	203,191	350,358	2,828	7,288	10,116
芸術工学図書館	131,681	52,329	184,010	2,086	990	3,076
筑紫図書館	67,680	79,068	146,748	1,510	1,194	2,704
伊都図書館	530,387	472,764	1,003,151	8,780	8,345	17,125
文系合同図書室	866,557	633,470	1,500,027	18,552	8,754	27,306
別府病院	6,693	13,491	20,184	292	347	639
記録資料館	55,787	4,339	60,126	1,674	54	1,728
合計	2,416,539	1,834,390	4,250,929	53,768	38,915	92,683

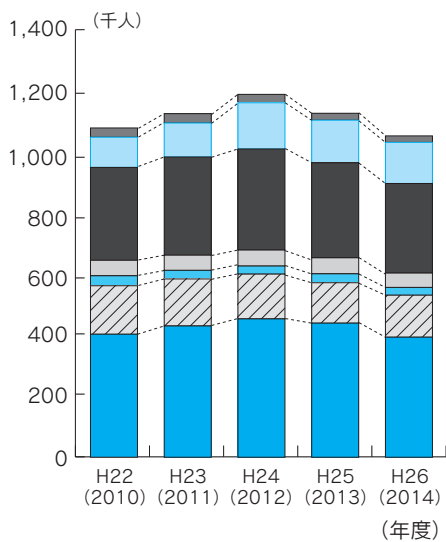
(注) 図書蔵書冊数は、資産として登録された図書の冊数である。

統計 = 推移と分析 = Statistics

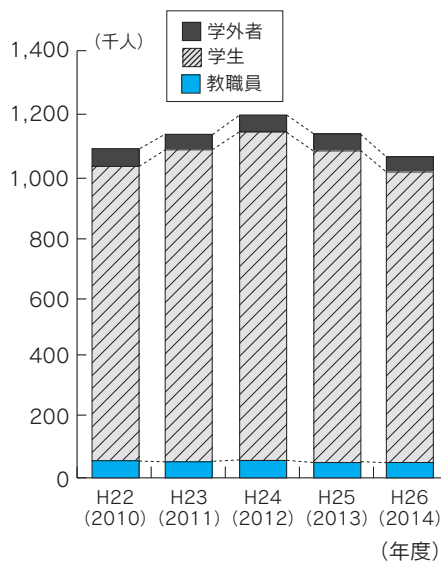
■ 利用サービスの推移



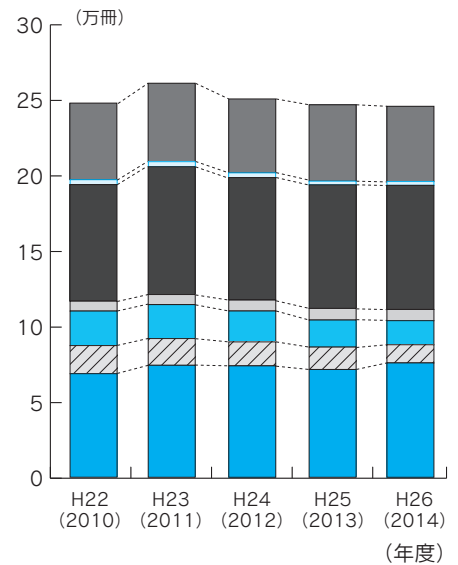
入館者数



身分別入館者数



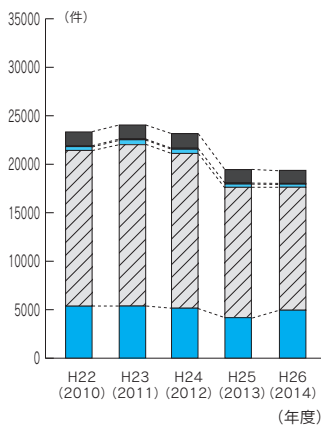
貸出冊数



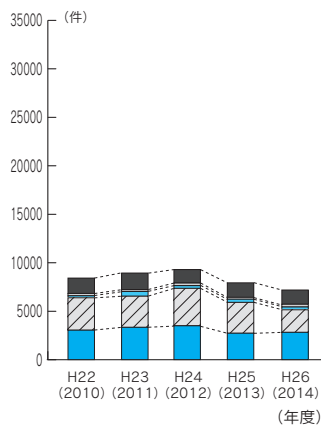
入館者数については、全体として平成22年度の水準に落ち着きました。身分別入館者数のグラフからは、学生による利用の減少が見られます。中央図書館では基幹教育の開始に伴い1年生の箱崎日がなくなったこと、伊都図書館では理学系の新営工事などが、入館者数の減少に影響しているものと思われます。一方、医学図書館の学生入館者数が前年度比6%増に転じているのは、病院地区再開発などにより学生の居場所が図書館へ移ったためと考えられます。

貸出冊数については、例年と比較し、おおむね横ばいとなっています。入館者数が減少した中央図書館、伊都図書館でも、貸出冊数は前年度に比べて増加しました。

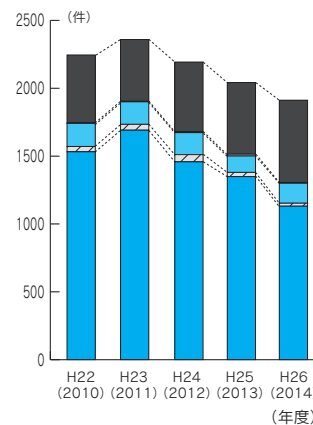
文献複写件数【受付】



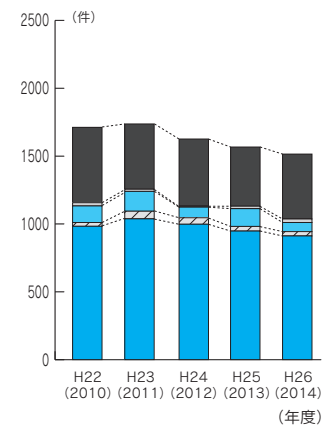
文献複写件数【依頼】



相互貸借件数【受付】



相互貸借件数【依頼】



受付(学外機関/学内利用者・個人への文献コピーの提供)は、全体として若干の減少が続いていますが、中央図書館については、前年度比約20%の増加に転じました。

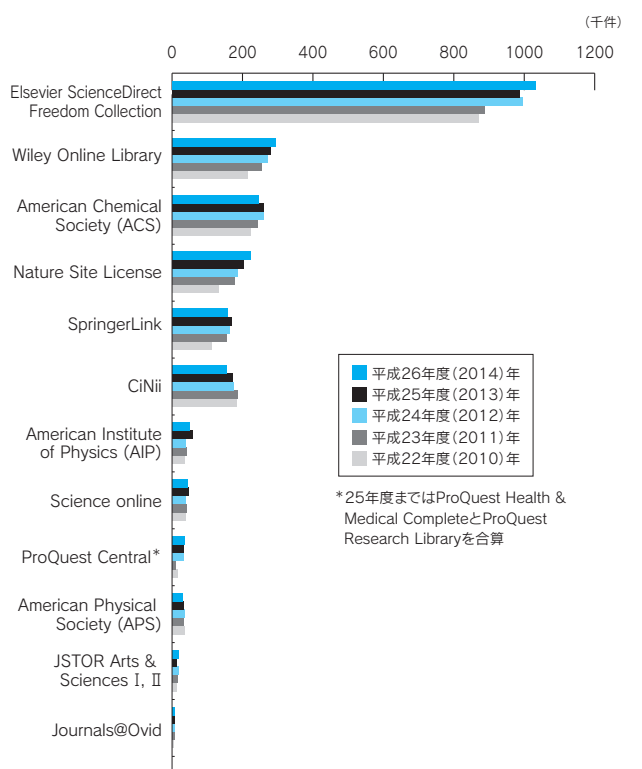
依頼(学外機関からの文献コピーの取寄せ)も全体として減少していますが、図書館別では前年度と比べ中央図書館が4%、筑紫図書館が40%の増加となりました。

受付(学外機関への圖書の貸出)、依頼(学外機関からの圖書の借受)ともに、全体の件数としては底堅い印象です。

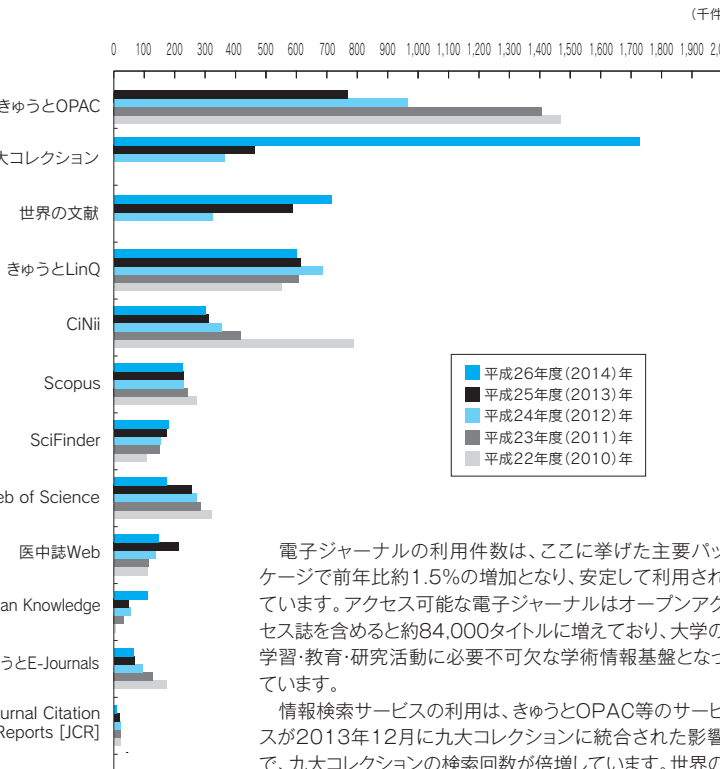
図書館別では、前年度と比べ、中央図書館、医学図書館の受付・依頼が減少しましたが、受付では、伊都図書館15%、芸術工学図書館22%、依頼では、伊都図書館10%、筑紫図書館44%の増加となりました。

電子ジャーナルと情報検索サービスの利用の推移

電子ジャーナルの利用 主要パッケージの利用件数



情報検索サービスの利用 主要データベースの検索回数

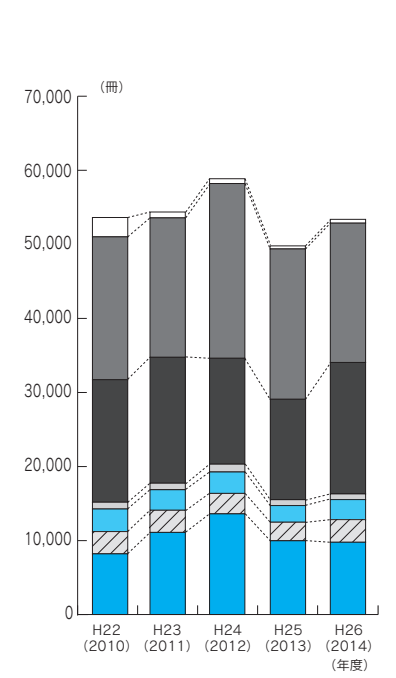


電子ジャーナルの利用件数は、ここに挙げた主要パッケージで前年比約1.5%の増加となり、安定して利用されています。アクセス可能な電子ジャーナルはオープンアクセス誌を含めると約84,000タイトルに増えており、大学の学習・教育・研究活動に必要な不可欠な学術情報基盤となっています。

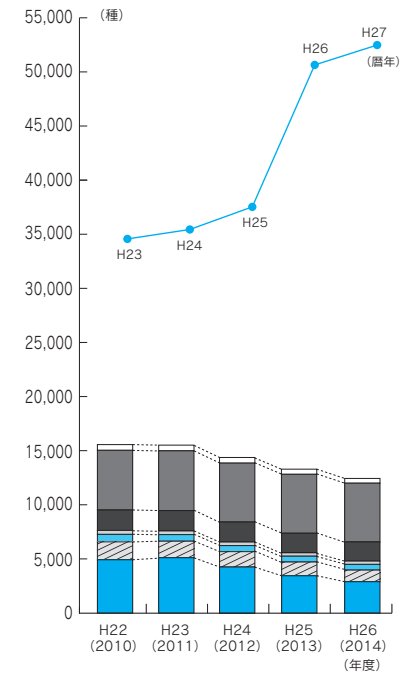
情報検索サービスの利用は、きゅうとOPAC等のサービスが2013年12月に九大コレクションに統合された影響で、九大コレクションの検索回数が倍増しています。世界の文献の検索回数は、約20%増加しており、その影響からか医中誌WebやWeb of Scienceの検索回数が減少しています。

資料受入の推移

図書受入冊数



雑誌受入種類数

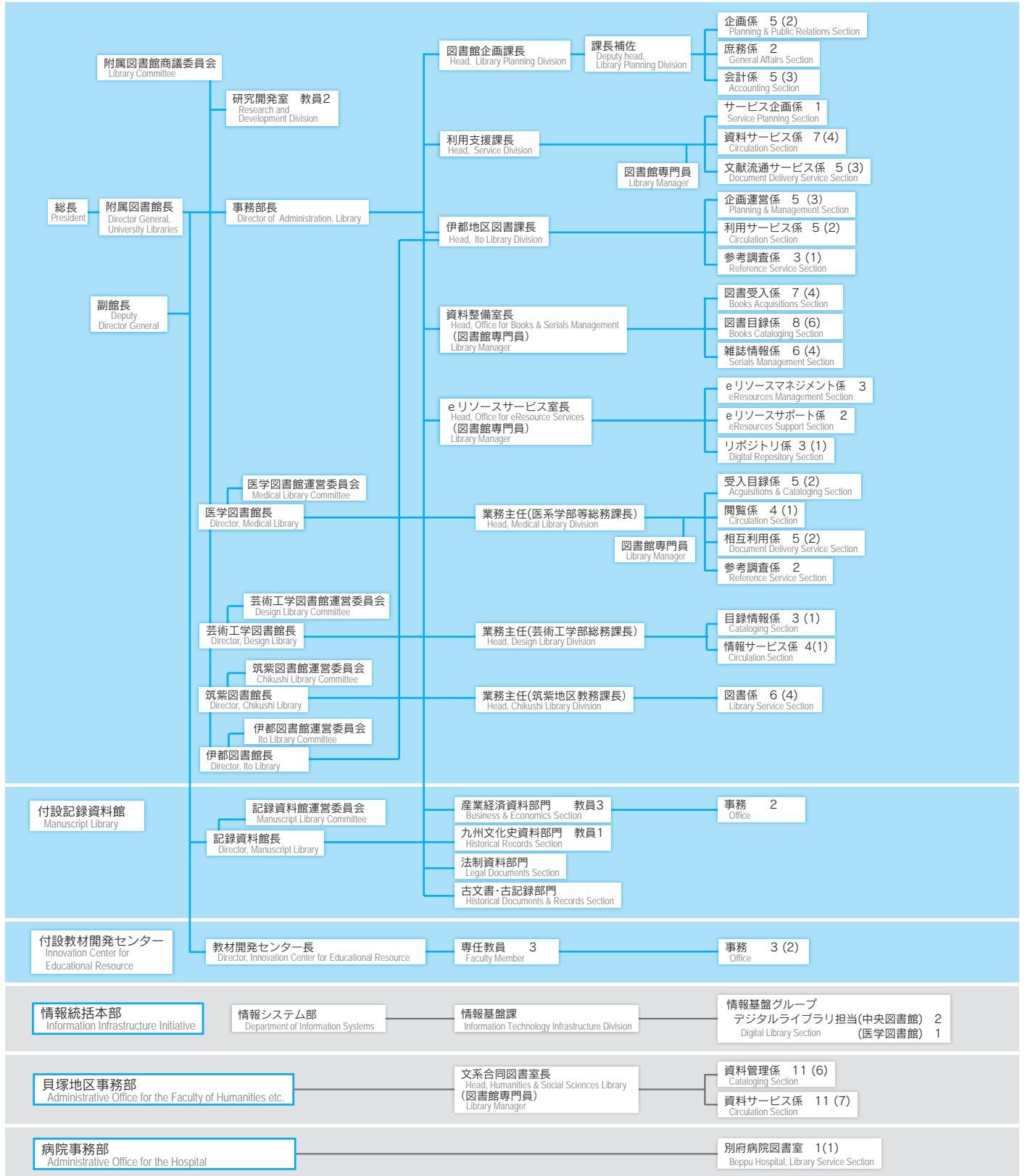


図書については、年により多少の増減はあるものの、全体としては安定した受入冊数となっています。文学部部の学生・教員が主に利用する文系合同図書室や、基幹教育用図書を整備している伊都図書館での受入冊数が特に多いことが分かります。

雑誌は電子ジャーナルの契約数の増加に反比例し年々減少傾向にあります。特に26年度は寄贈雑誌の受入数が電子化の影響や調整により減少しました。

附属図書館の組織 Organization

(平成27年4月1日現在)



区分	教授	准教授	講師	助教	合計	区分	事務部長	課長	課長補佐	図書館専門員	係長/専門職員	係員等	合計
教員数	2	4	0	4	10	職員数	1	3	1	5	20	107 (60)	137

※ 専任教員のみの。

※ 情報統括本部情報システム部のデジタルライブラリ担当を含む。()内は事務補佐員で内数。

附属図書館長・副館長・分館長等

平成27年4月1日現在

附属図書館長	宮本 一夫(副学長)	伊都図書館長	荒木啓二郎(システム情報科学研究院 教授)
副館長	吉田 素文(医学研究院 教授)	記録資料館長	川波 洋一(経済学研究院 教授)
医学図書館長	前原 喜彦(医学研究院 教授)	教材開発センター長	岡田 義広(教材開発センター 教授)
芸術工学図書館長	佐藤 優(芸術工学研究院 教授)	事務部長	益森 治巳
筑紫図書館長	笹田 一郎(総合理工学研究院 教授)		

附属図書館商議委員会

平成27年4月1日現在

■委員長

宮本 一夫(副学長、附属図書館長)

■委員

吉田 素文(副館長)

前原 喜彦(医学図書館長)

佐藤 優(芸術工学図書館長)

笹田 一郎(筑紫図書館長)

荒木啓二郎(伊都図書館長)

川波 洋一(記録資料館長)

岡田 義広(教材開発センター長)

谷口倫一郎(情報基盤研究開発センター長)

渡邊公一郎(留学生センター長)

佐伯 弘次(人文科学研究院 教授)

東 英寿(比較社会文化研究院 教授)

野々村淑子(人間環境学研究院 教授)

木村 俊道(法学研究院 教授)

田北 廣道(経済学研究院 教授)

福元 圭太(言語文化研究院 教授)

中西 秀(理学研究院 教授)

廣島 文生(数理学研究院 教授)

笹栗 俊之(医学研究院 教授)

清島 保(歯学研究院 教授)

片山 勉(薬学研究院 教授)

吉川 孝男(工学研究院 教授)

谷 正和(芸術工学研究院 教授)

瀧本 英二(システム情報科学研究院 教授)

松永 信博(総合理工学研究院 教授)

矢部 光保(農学研究院 教授)

高瀬 正仁(基幹教育院 教授)

山崎 晶(生体防御医学研究所 教授)

吉田 茂雄(応用力学研究所 教授)

菊池 裕嗣(先導物質化学研究所 教授)

手塚 集(マス・フォア・インダストリ研究所 教授)

益森 治巳(附属図書館事務部長)

所属する図書館関係団体と九州大学の役割

附属図書館

国立大学図書館協会 理事館(全国の国立大学図書館 会員館数:91)
九州地区国立大学図書館協会 代表館(九州地区の国立大学図書館 加盟館:11)
九州地区大学図書館協議会 幹事館(九州地区の国公立大学図書館 加盟館:78)
福岡県図書館協会 副会長(理事):館長(福岡県内の大学・公共・学校・専門図書館)
福岡県・佐賀県大学図書館協議会 理事館(福岡県・佐賀県内の大学・短大・高専図書館 加盟館:41)

医学図書館

日本医学図書館協会 評議員館(全国の医学系および病院図書館・図書室)
九州地区医学図書館協議会(九州地区の医学系図書館)

人事異動 Personnel Reshuffle

(平成26年4月1日~27年3月31日)

異動後	異動前
4/1 渡邊 俊彦 鹿児島大学学術情報部長	図書館企画課長
〃 片岡 真 国立情報学研究所	e)eリソースマネジメント係長
〃 天野絵里子 京都大学	e)eリソースサポート係長
〃 鳥居 愛 福岡教育大学	伊)参考調査係
〃 平良 香 琉球大学	文)資料管理係

中央図書館

4/1 郷原 正好 図書館企画課長	神戸大学附属図書館情報管理課長
〃 宮尾由美子 利)文献流通サービス係長	福岡教育大学学術情報課主任
〃 沖 政広 e)eリソースマネジメント係長	筑)図書係長
〃 兵藤 健志 e)eリソースサポート係長	情報システム部情報基盤課専門職員
〃 塚本 佳奈 資)図書受入係	芸)目録情報係
〃 原賀可奈子 資)雑誌情報係	資)図書受入係
〃 法常 知子 e)eリソースマネジメント係	資)雑誌情報係
〃 林 豊 e)リポジトリ係	京都大学吉田南橋内共通事務部総務課学術情報掛
〃 室井 万穂 利)資料サービス係	(採用)
〃 末信友実子 資)図書目録係事務補佐員	資)雑誌情報係事務補佐員
〃 廣 沙織 資)図書受入係事務補佐員	(採用)
〃 山田 仁美 資)雑誌情報係事務補佐員	(採用)
5/1 吉武 幸子 資)図書目録係事務補佐員	(採用)
5/31 藤田 幸 (退職)	資)雑誌情報係事務補佐員
6/1 小山 優梨 利)資料サービス係事務補佐員	(採用)
〃 木原山麻記 資)雑誌情報係事務補佐員	(採用)
6/9 木原山麻記 (退職)	資)雑誌情報係事務補佐員
8/1 波多 史子 資)雑誌情報係事務補佐員	(採用)
8/31 井上茉里奈 (退職)	企)企画係事務補佐員
9/1 西尾 香 企)企画係事務補佐員	(採用)
9/30 川本 芳昭 (退任)	図書館長
〃 吉峯かおり (退職)	資)図書目録係
10/1 宮本 一夫 図書館長	
〃 吉松 直美 資)図書目録係長	(職場復帰)
〃 谷澤 亜里 付設教材開発センター学術研究員	(採用)
12/31 田代 岳人 (退職)	付設教材開発センターテクニカルスタッフ
1/1 金子 美弥 利)サービス企画係	(採用)
3/1 宮尾由美子 利)資料サービス係長	利)文献流通サービス係長
〃 小柳 貴俊 利)文献流通サービス係長	利)資料サービス係長
3/31 村上 公一 (定年退職)	企)庶務係長
〃 吉村とみ子 (退職)	利)文献流通サービス係事務補佐員
〃 日田 佑子 (退職)	資)雑誌情報係事務補佐員
〃 谷澤 亜里 (退職)	付設教材開発センター学術研究員
〃 稲田 環 (退職)	付設教材開発センターテクニカルスタッフ

医学図書館

4/1 相部久美子 閲覧係(特定有期事務職員)	(採用)
5/1 緒方 美奈 受入目録係事務補佐員	(採用)
5/1 井上 修孝 (退職)	閲覧係事務補佐員
5/2 井上 修孝 閲覧係	(採用)
5/16 福島 由佳 閲覧係事務補佐員	(採用)
8/1 篠田 繁寿 受入目録係	筑)図書係
8/26 大野 和呼 (育児休業)	受入目録係事務補佐員
9/1 高野美保子 受入目録係事務補佐員	(採用)
3/31 田中 雅夫 (退任)	医学図書館長
〃 高原 秀典 (定年退職)	受入目録係長
〃 澤井 寛 (定年退職)	参考調査係
〃 入江いつ子 (退職)	相互利用係

〃 井上 修孝 (退職)	閲覧係
〃 塩田 麻実 (退職)	参考調査係

芸術工学図書館

4/1 三坂 雅子 目録情報係	情報サービス係
〃 城戸 弦太 情報サービス係	伊)利用サービス係

筑紫図書館

4/1 笹田 一郎 筑紫図書館長	
〃 有田 順一 図書係長	伊)企画運営係長
8/1 上田はるみ 図書係員	医)受入目録係員

伊都図書館

4/1 首東 誠 企画運営係長	文部科学省研究振興局参事官(情報担当)付学術基盤整備室学術情報係長
〃 井川友利子 企画運営係	利)サービス企画係
〃 福永 晶子 参考調査係	琉球大学附属図書館情報サービス課情報サービス企画係
〃 大村 武史 利用サービス係	企画運営係
〃 野口 秀子 企画運営係事務補佐員	(採用)
〃 吉川 早紀 利用サービス係事務補佐員	(採用)
5/31 土屋須磨子 (退職)	企画運営係事務補佐員
6/1 長野 玲奈 企画運営係事務補佐員	利)資料サービス係事務補佐員
3/31 荒木啓二郎 (任期満了)	伊都図書館長
〃 村山みな代 (退職)	利用サービス係事務補佐員

記録資料館 産業経済資料部門

8/1 古賀 華子 貝塚地区総務課(教室系)	係員
〃 末續 直子 係員	貝塚地区総務課(教室系)

情報システム部情報基盤課

4/1 北島 光明 情報基盤課デジタルライブラリ担当	利)資料サービス係
----------------------------	-----------

文系合同図書室

4/1 香川 朋子 資料管理係員	e)リポジトリ係
〃 金丸委津子 資料管理係(特定有期事務職員)	(採用)
3/31 諸岡 静児 (定年退職)	図書館専門員 兼)文系合同図書室長
〃 安永振一郎 (退職)	文)資料サービス係(特定有期事務職員)
〃 森谷優理子 (退職)	文)資料サービス係事務補佐員
〃 吉本 聡美 (退職)	文)資料サービス係事務補佐員

企)図書館企画課	芸)芸術工学図書館
利)利用支援課	筑)筑紫図書館
資)資料整備室	文)文系合同図書室
e)eリソースサービス係	伊)伊都図書館
医)医学図書館	

出版物/

貴重資料の学外展示・掲載・放映

Publications/Rere-Book-Provision to the public

出版物

● 附属図書館発行

『九州大学附属図書館年報2013/2014』(2014.6)
『九州大学附属図書館研究開発室年報2013/2014』(2014.10)
『きゅうとNEWSLETTER Vol.9』No.1(2014.4), No.2(2014.7), No.3(2014.10), No.4(2015.1)

● 付設記録資料館発行

『九州大学附属図書館付設記録資料館ニュースレター Vol.9』(2015.3)

● 付設記録資料館産業経済資料部門発行

『石炭研究資料叢書 No.36』(2015.3) 『エネルギー史研究 No.30』(2015.3)

● 付設記録資料館九州文化史資料部門発行

『九州文化史研究所紀要』58号(2015.3)

● 付設教材開発センター発行

『九州大学附属図書館付設教材開発センターだより』No.8(2014.4), No.9(2014.6), No.10(2014.8), No.11(2014.10), No.12(2014.12), No.13(2015.2)

貴重書の学外での展示

資料名	所蔵館	展示会名	展示会場
『奉天省輯安古跡高句麗王碑文』(広開土王碑拓本)	中央図書館	文化交流展示「海の道、アジアの路」(H26.4.1~H27.3.31)	九州国立博物館
炭鉱絵葉書	記録資料館(産業経済)	『作兵衛が働いた炭坑』(H26.4.29~5.25)	田川市石炭・歴史博物館
ドラ・マガラ初期草稿(杉山家資料)	記録資料館(産業経済)	『奇なるものへの挑戦 明治大正・異端の科学』(H26.7.4~8.31) 『反世界から半世紀——「虚無への供物」刊行50周年 中井英夫展』(H26.11.7~2.28)	岐阜県博物館 ミステリー文学資料館
ドラ・マガラ初期草稿、大震災スクラップ、インドの緑化運動について(草稿、杉山ラケット(杉山家資料))	記録資料館(産業経済)	『ドラ・マガラ銅版風車—ドラ・マガラの血脈 夢野久作とグリーン・ファザー—』(H26.8.11~9.20)	森岡書店(東京)、立石クラブ子店(福岡)
『石垣原絵図』(三奈木黒田家文書)	記録資料館(九州文化史)	2014年NHK大河ドラマ特別展「軍師官兵衛」(H26.3.21~9.21)	兵庫県立歴史博物館、東京都江戸東京博物館、福岡市博物館
『名島城図』『名嶋御館之図』『黒田家譜』『黒田如水書状』(三奈木黒田家文書)	文系合同(文)	『黒田官兵衛と城』(H26.8.16~9.28)	九州歴史資料館
『福岡城下之絵図』(吉田文書) 『機張城図』『勿築(鶴山)城址図』(倭城址図)	中央図書館	古田編部四〇〇年忌「大編部展」(H26.9.6~10.26)	岐阜県現代陶芸美術館
『宗湛日記』(廣瀬文庫)	中央図書館	『岡田三郎助—エレガンス・オブ・ニッポン—』(H26.9.19~10.13)	佐賀県立美術館
岡田三郎助「奥野文二像」	中央図書館	『細川コレクション特集「信長からの手紙」』(H26.10.10~12.14)	熊本県立美術館本館
『寛永16年』12月15日付細川休斎書状(宇土細川家文書)	記録資料館(九州文化史)	『廣瀬淡窓—近世最大規模の私塾創設者—』(H26.10.11~11.24)	大分県立先哲史料館
『藍英館学規』『亀井昭陽肖像』(旧玉泉館資料)	中央図書館 記録資料館	『島津と北郷の時代—鎌倉・南北朝期の南九州—』(H26.10.11~H26.11.30)	都城島津伝承館
『蒙古襲来絵詞』『吾妻鏡』(寛永本)	中央図書館	『宙のかげらたち—詩人・宗左辰展—』(H26.10.25~12.14)	北九州市立文学館
『みづゝ』558号(岡本太郎「縄文土器論」所収)	中央図書館	福岡市文学館企画展「運動旗花田清輝：骨を新らせて肉を斬る」(H26.11.6~12.14)	福岡市総合図書館
『我親』1935年11月号・12月号(朝鮮民族の史的変遷)所収 『東大陸』1938年4月号・10月号・12月号・1939年3月号(「日本民族政策の指導原理」「農業統制と協同組合」「民族政策の理想と現実」「東亜協同体論と国家主義」)所収	中央図書館	福岡市文学館企画展「運動旗花田清輝：骨を新らせて肉を斬る」(H26.11.6~12.14)	福岡市総合図書館
甘棠館扁額(旧玉泉館資料)	記録資料館	『貞原貞幹没後300年—亀井南冥没後200年記念—益軒・南冥と筑前の学者たち』(H26.12.9~H27.1.18)	福岡市博物館
『秀吉公名護屋御陣之図二相添候葉書』(古賀文庫)	記録資料館(九州文化史)	『没後400年古田編部展』(H26.12.30~H27.1.23 予定)	松屋銀座、奥田元栄・小由女美術館、佐川美術館
『霧海図編』	文系合同(文)	『戦国大名—九州の群雄とアジアの波瀾—』(H27.4.21~5.31)	九州国立博物館

貴重書の出版物への掲載・TV等での放映(一部)

● 出版物への掲載

資料名	所蔵館	掲載資料名
『肥前長崎町』『紅毛雑話』(桑木文庫) シーボルト「NIPPON」『環海異聞』(法制史料)	中央図書館 医学図書館 文系合同(法)	『文明開化は長崎から』(集英社 2014.11) 『徳』【大奥】事典(東京堂出版 2015.1)
シーボルト「NIPPON」	医学図書館	『近世の医療史：京洛・大坂ゆかりの名医』(ミヤオヒバブリッシング 2015.2)
『人身管理小解』『節語録』『注能毒』『外書秘要方』『伝家歴驗方』『馬島眼障之図』『春林軒方箋』『一問萬答』『医門問』(以上眼科教室旧蔵狩野本)『刺絡編』(杏仁醫館文庫)ほか	医学図書館	『妖怪図譜』(別冊太陽219 平凡社 2014.7) 『イントロ製図学』(改訂第2版 オフィスHANS 2014.4)
『五臓之守護虫之図』(眼科教室旧蔵狩野本)	医学図書館	『「アジア内海」の大航海時代を担った帆船の航海技術』(『22世紀研究所評論』2015.2)
『機巧図彙』(桑木文庫)	中央図書館	『近藤重蔵と近藤富蔵』(日本史リブレット人58 山川出版社 2014.4)
『三國通覧図説』	中央図書館	『漢文庫所蔵唱本目録稿(13)』(『言語文化論』33 2014.10) 『漢文庫所蔵唱本目録稿(14)』(『言語科学』50 2015.3)
『清俗記聞』(近藤文庫)	中央図書館	『漢一衛看到的1930年代中国戯劇—一個開拓演史研究的日本学者—』(『文化遺産』2014年第4期 2014.7) 『漢一衛の見た一九三〇年代中国演劇—京劇—』(『中国文学論集』43 2014.12) 『漢一衛の見た一九三〇年代中国演劇—昆劇・地方劇—』(『集刊東洋学』112 2015.1)
漢文庫唱本	中央図書館	『「肥前長崎町」多胡碑記念館本の調査報告』(『汲古』165 2014.6)
漢文庫戲單	中央図書館	『前問恭作の学問と生涯』(ブックレット「アジアを学ぼう」 風響社 2015年夏刊行予定)
『奉天省輯安古跡高句麗王碑文』(広開土王碑拓本)	中央図書館	『筑前国境物語②「背振山論争」』(『西日本新聞』朝刊福岡都市圏版 2014.7.10 同佐賀地域版 2014.8.24)
前問恭作旧蔵書簡集	中央図書館	『文獻探究』53(2015.3)
『背振山図』(廣瀬文庫)	中央図書館	『政事と文学』(『書物学』第4巻 勉誠出版 2015.1)
『金光明最勝王経』(春日政治・和男文庫)	中央図書館	『北村季吟奥書を有する「源語秘訣」について』(『語文』104 2015.6刊行予定)
三条西実隆筆「古今和歌集」同「伊勢物語」細川幽斎筆「歌歌大概問書」(細川文庫)	中央図書館	『調査報告99 文芸資料研究所蔵「伊勢物語」の歌詠・解説—併せて九州大学附属図書館蔵「源氏物語歌詠」に及ぶ—』(『年報』34 実践女子大学文学部資料研究所 2015.3)
『源語秘訣』(音無文庫)	中央図書館	『「外国人学習者に対する古典授業のあり方(1)和本を活用した古典作品読解の試み」』(『福岡国際文化紀要』31 2014.3)
『源氏物語歌詠』(支子文庫)	中央図書館	『外国人学習者に対する古典授業のあり方(2)時代思潮に即した古典作品読解の試み』(『福岡国際文化紀要』32 2014.7)
『校訂伊勢物語図会』(支子文庫)	中央図書館	『都の鏡と藤本：舌耕者としての一側面』(『雅俗』13 2014.7)
『伊勢物語古意』	文系合同(文)	『従好談—翻刻と解題—』(『文獻探究』52~53)
『軽口はなし』(支子文庫)	中央図書館	『九州大学附属図書館蔵「素女妙論」—その翻字と校合—』(『医譚』復刊第100号 2014.12.15)
『従好談』(読本コレクション)	中央図書館	『「大坂御法度書」』(『大坂御法度書』)『諸事御定形』(『近世大坂町触聞史料5 大阪市立大学大学院文学部都市文化研究センター 2015.3刊行予定])
『素女妙論』(雅俗文庫)	中央図書館	『武徳書熱録』(『文化研究』13 2014.10)
『大坂諸公事覽書』(法制史料)	文系合同(法)	『新古今集注集成』(近世新編2 笠間書院 2014.7)
『石川家成年譜』(法制史料石川家文書)	文系合同(文)	『富田文庫における葛飾北斎とその一門の狂歌本について(5)』(『北斎研究』54 2014.9)
『新古今集注の玉』(寛見文庫)	文系合同(文)	『富田文庫における葛飾北斎とその一門の狂歌本について(6)』(『北斎研究』55 2015.3)
『陣田川狂歌都鳥』(富田文庫)	文系合同(文)	『博多に生きた漢医：原三信の四百年』(石風社 2014.6)
『東海道岐州街遊狂歌合』(富田文庫)	文系合同(文)	『伊予国藩政史料集』(伊予史談会双書26 伊予史談会 2015.1)
『長崎細見之図』(松木文庫)	記録資料館(九州文化史)	『宮本武蔵』(人物叢書 吉川弘文館 2015.2)
『江戸直廻船海陸事控』(長沼文庫)	記録資料館(九州文化史)	『Cartographic Japan』(the University of Chicago Press 2015)
『二天一流兵法書』(吉田文書)	記録資料館(九州文化史)	
『方城炭鉱災災書類』	記録資料館(産業経済)	

● TV等での放映

資料名	所蔵館	放送番組
『蒙古襲来絵詞』	中央図書館	『137傳年の物語』(テレビ東京 2014.4.5)
『益軒書簡』(竹田文庫)	中央図書館	『発見!九州スピリット』(九州朝日放送 2014.6.21,28)
『宗湛日記』(廣瀬文庫)	中央図書館	『とことん歴史紀行』(BS11 2014.11.14)
『吾妻鏡』(樋口文庫)	中央図書館	『よみがえる黄金都市』(NHK 2015.2.5)
シーボルト「NIPPON」	医学図書館	『金とく・北斎漫画』(NHK 2014.5.16)
『福岡城下町・博多・近隣古図』(三奈木黒田家文書)	記録資料館(九州文化史)	『熱烈発信福岡NOW!』(NHK 2014.6.27)
『三池港十景』(炭鉱絵葉書)	記録資料館(産業経済)	『ふくおかリンク』(TNC 2014.8.24)

図書館日誌 Diary

	全学・箱崎地区	医学図書館	芸術工学図書館	筑紫図書館	伊都図書館
H26 (2014)	(3月25日～) 椎木講堂オープニング展示「九州大学百年の至宝」 (～5月2日)				17 和歌山大学学長ほか3名来訪
4					
5	1 イスラムウィーク(～2日) 12 第1回農学研究院図書委員会 15 図書系職員初任者研修(～16日) 19 無線LAN経由での印刷サービス開始 23 中央図書館図書資料選定委員会 30 ベンチャーフェア現地活動写真展(～7月18日)	13 外国雑誌センター館会議 30 第85回日本医学図書館協会総会(～31日)		10 オープンキャンパス「九州大学筑紫キャンパスの歴史散歩－昔も今も学术交流の拠点－」展示 21 第1回筑紫図書館運営委員会	29 文部科学省1名来訪
6	11 図書館マーケティングに関する講演会 16 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始 28 九州地区国立大学法人等職員採用事務系(図書業務)二次専門試験				26 福岡県立朝倉高校PTA進路対策委員会56名来訪
7	15 第1回学生用図書選定委員会中央図書館分科会 17 学術情報セミナー「学術情報の現在・過去・未来」	24 第1回医学図書館運営委員会	31 第1回芸術工学図書館運営委員会	17 第1回筑紫図書館図書資料選定委員会	31 関東学院大学8名来訪
8	1 福岡アメリカン・センター講演会「インフォプロと図書館の新たな役割」 2 オープンキャンパス「探検!大学図書館」(～3日) 7 大学図書館利用促進事例発表会「そのアイデア、いただきます!」 19 第1回理学研究院図書専門委員会 20 NII目録システム地域講習会(～22日)	4 オープンキャンパス図書館開放	2 オープンキャンパス図書館開放		2 オープンキャンパス図書館開放(～3日) 5 第1回伊都図書館運営委員会 8 エジプト日本科学技術大学13名来訪
9	2 学術講演会「これからの図書館と図書館員の目指すべき方向性」 24 中央図書館防災訓練				17 E-JUST大学教員等3名来訪
10	20 Library Lovers' キャンペーン2014(～11月16日) 22 中央図書館所蔵の新聞スクラップブックを大学文書館に移管	17 第62回九州地区医学図書館協議会総会			14 第1回伊都図書館学生用図書選定委員会(書面回議)
11	21 写真展「九大1968 ー林崎价男(ともお)の写真で振り返る」(～2月19日) 27 第1回学習・教育支援に関する専門性向上研修	28 第22回九州地区医学図書館員セミナー			6 私学協会(ベトナム高校生)36名来訪
12		4 第1回日本医学図書館協会地区会事務局連絡会議 17 第2回医学図書館運営委員会(書面回議)			15 第1回伊都図書館長候補者選考委員会(書面回議)
H27 (2015)	21 第2回農学研究院図書委員会 22 第2回学習・教育支援に関する専門性向上研修 27 第2回理学研究院図書専門委員会(書面回議)	1 第1回日本医学図書館協会評議員会 19 第3回医学図書館運営委員会(書面回議)			28 第2回伊都図書館長候補者選考委員会
1					
2	3 トークイベント「九大1968 ー撮影者 林崎价男氏を囲んで」				20 元岡校区環境推進委員会20名来訪
3	3 第3回学習・教育支援に関する専門性向上研修	11 第4回医学図書館運営委員会 23 第5回医学図書館運営委員会(書面回議)		23 第2回筑紫図書館運営委員会(書面回議)	10 城市大学(香港)30名来訪

	文系合同図書室	記録資料館	教材開発センター	全学会議	関係団体会議等への出席
16	第1回文学部図書委員会		30 FD Web学習システム/ Handbook講習会(人文科学研究院)		17 第44回九州地区国立大学図書館協会総会及び第65回九州地区大学図書館協議会総会出席(大分オアシスタワーホテル)(~18日)
22	第2回文学部図書委員会		21 FD 電子教材著作権講習会(人文科学研究院)	22 第1回電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会	1 大学学習資源コンソーシアム「設立総会」、「第1回運営委員会」(東京工業大学) 13 外国雑誌センター館会議(一橋大学) 14 国立大学図書館協会総務委員会・学術情報委員会・新理事会・図書系専門試験委員会・人材委員会(東京大学) 28 福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会(九州大学)
11	第1回法学部図書委員会		6 著作権セミナー「教育活動と著作権」	3 第2回電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会	19 国立大学図書館協会総会(国立オリンピック記念青少年総合センター)
27	第2回法学部図書委員会(書面回議)			4 第1回研究開発室会議 24 第1回大型図書資料選定委員会	20 国立大学図書館協会マネジメントセミナー(国立オリンピック記念青少年総合センター)
23	第1回経済学部研究室委員会(書面回議)		8 第1回運営委員会	2 第1回電子ジャーナル等検討専門委員会 9 館長会議 9 第214回附属図書館商議委員会 29 第1回学生用図書選定委員会(書面回議)	10 教育学習支援検討特別委員会・実践事例普遍化小委員会(名古屋大学)(テレビ会議)
24	第1回文系合同図書室運営委員会				
3	文系オープンキャンパス向け開室	7 第26回記録資料館運営委員会		4 第3回電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会	
30	書庫害虫駆除(~9月1日)				
26	法学府世界展開力強化事業実習		5 第2回運営委員会 9 FD 電子教材著作権講習会(馬出キャンパス)	9 第2回大型図書資料選定委員会 26 第4回電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会	12 国立七大学附属図書館協議会(九州大学)
8	第3回法学部図書委員会		22 FD Web学習システム講習会(人間環境学研究院)		10 国立大学図書館協会人材委員会第1回人材育成小委員会(東京大学) 17 国立大学図書館協会総務委員会(東京大学) 30 九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議(大分大学)(~31日)
20	臨床心理分野専門職大学院訪問調査視察				
					16 第1回日本語の歴史的転籍の国際共同研究ネットワーク構築計画拠点連携委員会(主婦会館) 17 国立大学図書館図書系専門試験委員会・人材委員会・秋季理事会(東北大学) 26 教育学習支援検討特別委員会実践事例普遍化小委員会(名古屋大学)
9	第2回経済学部研究室委員会	19 第27回記録資料館運営委員会	25 第3回運営委員会	1 第5回電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会 19 館長会議 19 第215回附属図書館商議委員会	3 九州地区国立大学附属図書館館長・事務(部・課)長会議(九州大学)
20	第4回法学部図書委員会(書面回議)		8 講演会「Power PointやKeynoteなどによるスライドショーをもっと良くする方法」		28 国立大学図書館協会シンポジウム(名古屋大学)
30	第2回文系合同図書室運営委員会				
6	第3回経済学部研究室委員会(書面回議)	23 第28回記録資料館運営委員会	12 第4回運営委員会 12 FD 電子教材著作権講習会(馬出キャンパス) 24 第5回運営委員会	9 第6回電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会 18 第7回電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会 20 第3回大型図書資料選定委員会 24 第2回電子ジャーナル等検討専門委員会	
4	第3回文学部図書委員会		10 FD・HD 講演会「教育と著作権」(理学研究院化学部門)	3 第1回旧植民地関係資料の整理に係る専門委員会 6 館長会議 6 第216回附属図書館商議委員会	17 第2回日本語の歴史的転籍の国際共同研究ネットワーク構築計画拠点連携委員会(主婦会館)
13	第5回法学部図書委員会(書面回議)		13 第2回著作権セミナー「電子教材の開発と著作権~知の共有化へ向けて~」 17 FDWeb学習システム講習会(馬出キャンパス) 19 電子教材開発活用セミナー(人文科学研究院) 31 英語教育セミナー		

平成27(2015)年6月発行

編集発行 九州大学附属図書館
〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号
TEL(092)642-4264 (図書館企画課企画係)

印刷 城島印刷株式会社

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp>



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY